

令和5年愛知県人口動向調査結果（名古屋市分）

名古屋市の世帯数と人口

（
令和5年10月1日現在の世帯数と人口
令和4年10月～令和5年9月の異動状況
）

令和5年12月

名古屋市総務局企画部統計課

利用上の注意

概要

この資料は「令和5年愛知県人口動向調査」の名古屋市分集計結果である。この調査は、直近の国勢調査の結果をベースに、住民基本台帳における毎月の出生、死亡、転入、転出などの異動数を加減することにより、人口及び世帯数の推計を行っているもので、今回は令和4年10月～令和5年9月までの1年間の異動状況を中心にまとめている。

外国人登録法の廃止と住民基本台帳法の改正について

平成24年7月9日に、外国人登録法が廃止され、住民基本台帳法の一部が改正された。この法改正に伴い、世帯数と外国人人口の取扱を変更したため、人口の集計方法に変更が生じた。平成23年10月～平成24年9月の異動状況において、14,377世帯の世帯減及び2,619人の人口減（「その他の減」として集計）が生じたことに注意されたい。

地域区分

地域は次の区分による。

[北海道] 北海道

[東北] 青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県

[関東] 茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県

[中部（愛知県を除く）] 新潟県、富山県、石川県、福井県、山梨県、長野県、岐阜県、静岡県、三重県

[愛知県] 愛知県内の名古屋市以外の市町村

[近畿] 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

[中国] 鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県

[四国] 徳島県、香川県、愛媛県、高知県

[九州] 福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県

[国外] 国外

用語の解説

「X」年

資料中、「X」年が1年間を指すときは、「X-1」年10月から「X」年9月の期間をいう。

例)「令和5年」は、令和4年10月から令和5年9月の期間をいう。

自然増減数

自然増減数は、「出生数－死亡数」により求める。出生数が死亡数より多いとき「自然増」、またその逆を「自然減」という。

社会増減数

社会増減数は、「転入数－転出数」により求める。転入数が転出数より多いとき「社会増」、またその逆を「社会減」といい、それぞれ「転入超過」、「転出超過」ともいう。

公簿人口

平成 24 年 7 月 1 日以前の公簿人口は、住民基本台帳上の人口と外国人登録人口を合算したものである。平成 24 年 8 月 1 日以降の公簿人口は、住民基本台帳上の人口である。なお、公簿人口は、人口動向調査による推計人口とは異なる。

統計数値

構成比等の内訳数値は、表章単位未満を四捨五入しているため、その合計は総数と必ずしも一致しない。

「0.0」は表章単位に満たない場合、「…」は不詳、「-〇〇」は負数、「-」は皆無又は該当数値のない場合を示す。

人口に関する指数等

$$\cdot \text{年少人口指数} = \frac{\text{年少人口 (0~14歳人口)}}{\text{生産年齢人口 (15~64歳人口)}} \times 100$$

$$\cdot \text{老年人口指数} = \frac{\text{老年人口 (65歳以上人口)}}{\text{生産年齢人口 (15~64歳人口)}} \times 100$$

$$\cdot \text{従属人口指数} = \text{年少人口指数} + \text{老年人口指数}$$

$$\cdot \text{老年化指数} = \frac{\text{老年人口}}{\text{年少人口}} \times 100$$

$$\cdot \text{平均年齢} = \frac{\sum C_i \cdot f_i}{\text{総人口} - \text{年齢不詳人口}} + 0.5$$

ただし、 C_i … 年齢 (0 歳、1 歳、2 歳、…)

f_i … i 歳の人口

$$\cdot \text{年齢中位数} = i + C \left(\frac{P/2 - F}{f} \right)$$

(人口を年齢順に並べて数え、ちょうど中央に当たる人の年齢)

ただし、 i … 中位数を含む年齢階級の下限值

f … i 歳の人口

C … 年齢階級

P … 総人口 - 年齢不詳人口

F … 0 歳 ~ ($i-1$) 歳の人口

なお、統計表中の年齢中位数は年齢各歳別人口により算出しており、左記式では $C=1$ となる。

1 人口概況

令和5年10月1日現在の本市の人口は、2,326,683人となった。人口は平成9年以降令和2年まで24年連続で増加し、令和3年、4年は減少していたが、令和5年は3年ぶりに増加に転じた。男女別では、男性が1,141,893人、女性が1,184,790人となった。

また、人口は前年と比べて905人増加したが、その内訳は、自然増減数が9,529人の自然減（前年比424人減）、社会増減数（※1）が10,434人の社会増（前年比1,467人増）であった。 [図1～2、付表1]

※1：市外との移動のほか、市内区間移動、その他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

図1 人口及び人口の対前年増減率の推移

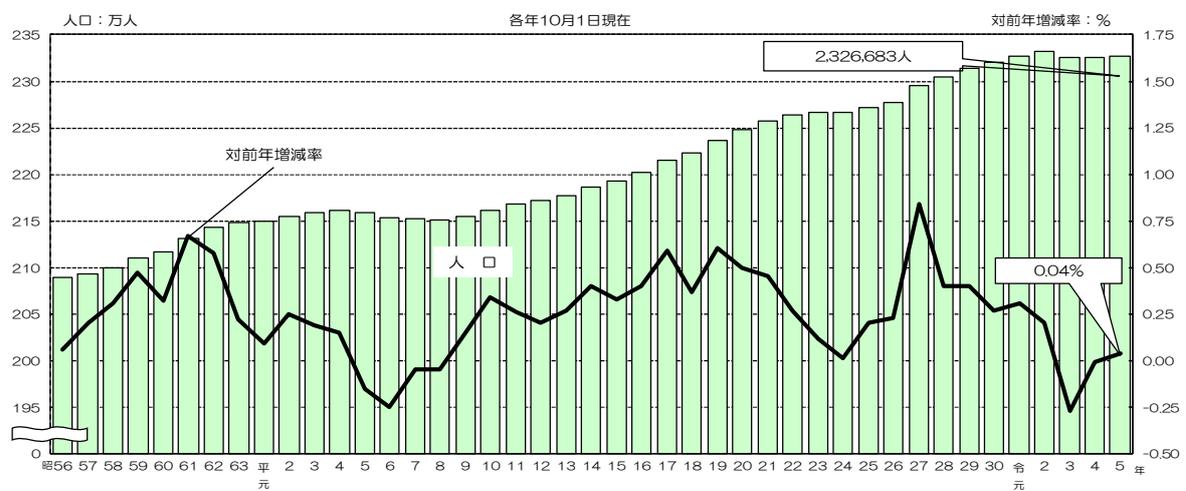
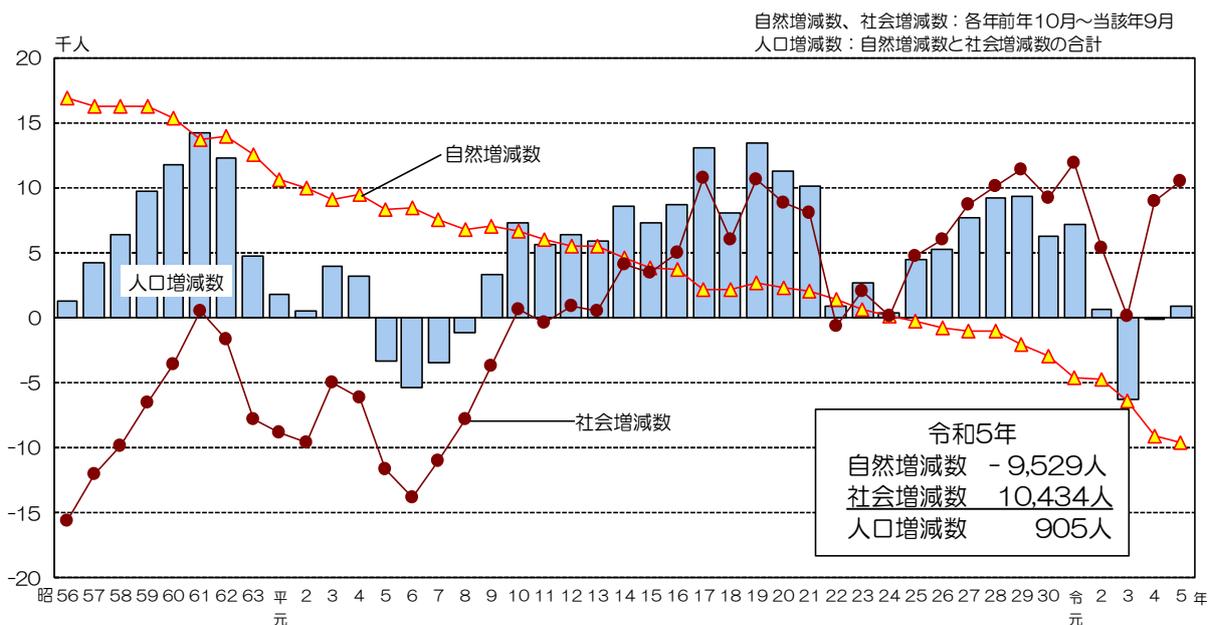


図2 自然増減数、社会増減数及び人口増減数の推移



(注) 社会増減数には、市外との移動のほか、市内区間移動、その他の増減（職権による記載または消除等による増減、平成24年7月の法改正に伴う外国人人口の取扱変更による数値変動）を含む。

付表1 全市の人口関連各指標の推移

各年10月1日現在 ただし、自然動態・社会動態は各年前年10月～当該年9月の合計

年 別	人口			人口 増減数	対前年 増減率 (%)	世帯数	世帯増減数	対前年 増減率 (%)
	男	女						
昭和56年	2,089,163	1,045,817	1,043,346	1,261	0.06	709,067	3,744	0.53
57	2,093,416	1,047,278	1,046,138	4,253	0.20	714,515	5,448	0.77
58	2,099,830	1,050,070	1,049,760	6,414	0.31	720,273	5,758	0.81
59	2,109,600	1,054,376	1,055,224	9,770	0.47	727,992	7,719	1.07
60	2,116,381	1,057,339	1,059,042	6,781	0.32	730,666	2,674	0.37
61	2,130,632	1,064,549	1,066,083	14,251	0.67	741,943	11,277	1.54
62	2,142,896	1,070,904	1,071,992	12,264	0.58	752,746	10,803	1.46
63	2,147,667	1,073,464	1,074,203	4,771	0.22	761,431	8,685	1.15
平成元	2,149,517	1,074,037	1,075,480	1,850	0.09	770,363	8,932	1.17
2	2,154,793	1,077,602	1,077,191	5,276	0.25	792,080	21,717	2.82
3	2,158,784	1,080,217	1,078,567	3,991	0.19	805,693	13,613	1.72
4	2,162,007	1,082,075	1,079,932	3,223	0.15	817,207	11,514	1.43
5	2,158,713	1,080,177	1,078,536	-3,294	-0.15	825,105	7,898	0.97
6	2,153,293	1,076,333	1,076,960	-5,420	-0.25	830,766	5,661	0.69
7	2,152,184	1,073,655	1,078,529	-1,109	-0.05	841,083	10,317	1.24
8	2,151,084	1,072,916	1,078,168	-1,100	-0.05	851,083	10,000	1.19
9	2,154,376	1,074,510	1,079,866	3,292	0.15	862,348	11,265	1.32
10	2,161,680	1,077,911	1,083,769	7,304	0.34	875,242	12,894	1.50
11	2,167,327	1,080,129	1,087,198	5,647	0.26	886,435	11,193	1.28
12	2,171,557	1,081,094	1,090,463	4,230	0.20	897,932	11,497	1.30
13	2,177,451	1,082,741	1,094,710	5,894	0.27	909,232	11,300	1.26
14	2,186,075	1,086,280	1,099,795	8,624	0.40	921,994	12,762	1.40
15	2,193,376	1,089,186	1,104,190	7,301	0.33	932,891	10,897	1.18
16	2,202,111	1,092,926	1,109,185	8,735	0.40	945,328	12,437	1.33
17	2,215,062	1,099,582	1,115,480	12,951	0.59	955,851	10,523	1.11
18	2,223,148	1,104,274	1,118,874	8,086	0.37	969,528	13,677	1.43
19	2,236,561	1,111,329	1,125,232	13,413	0.60	985,322	15,794	1.63
20	2,247,752	1,117,043	1,130,709	11,191	0.50	999,717	14,395	1.46
21	2,257,888	1,122,284	1,135,604	10,136	0.45	1,012,259	12,542	1.25
22	2,263,894	1,116,211	1,147,683	6,006	0.27	1,021,227	8,968	0.89
23	2,266,517	1,116,795	1,149,722	2,623	0.12	1,028,853	7,626	0.75
24	2,266,851	1,116,343	1,150,508	334	0.01	1,023,428	-5,425	-0.53
25	2,271,380	1,118,832	1,152,548	4,529	0.20	1,034,154	10,726	1.05
26	2,276,590	1,121,465	1,155,125	5,210	0.23	1,045,642	11,488	1.11
27	2,295,638	1,133,640	1,161,998	19,048	0.84	1,058,497	12,855	1.23
28	2,304,794	1,138,412	1,166,382	9,156	0.40	1,072,913	14,416	1.36
29	2,314,125	1,142,968	1,171,157	9,331	0.40	1,088,175	15,262	1.42
30	2,320,361	1,145,763	1,174,598	6,236	0.27	1,102,535	14,360	1.32
令和元	2,327,557	1,149,614	1,177,943	7,196	0.31	1,117,913	15,378	1.39
2	2,332,176	1,146,669	1,185,507	4,619	0.20	1,122,103	4,190	0.37
3	2,325,916	1,142,651	1,183,265	-6,260	-0.27	1,129,461	7,358	0.66
4	2,325,778	1,141,841	1,183,937	-138	-0.01	1,143,119	13,658	1.21
5	2,326,683	1,141,893	1,184,790	905	0.04	1,156,744	13,625	1.19

年 別	自然動態			社会動態			性比 (女=100)	1世帯 当たり人員	人口密度 (人/km ²)	面積 (km ²)
	出生数	死亡数	自然増減数	転入数	転出数	社会増減数				
昭和56年	28,019	11,131	16,888	162,976	178,603	-15,627	100.2	2.95	6,377	327.63
57	27,319	11,094	16,225	158,653	170,625	-11,972	100.1	2.93	6,390	327.63
58	27,384	11,135	16,249	158,096	167,931	-9,835	100.0	2.92	6,404	327.91
59	27,591	11,356	16,235	152,554	159,019	-6,465	99.9	2.90	6,433	327.91
60	26,619	11,302	15,317	154,677	158,216	-3,539	99.8	2.90	6,454	327.91
61	25,597	11,903	13,694	158,179	157,622	557	99.9	2.87	6,498	327.91
62	25,775	11,801	13,974	156,364	158,074	-1,710	99.9	2.85	6,535	327.91
63	25,006	12,434	12,572	151,614	159,415	-7,801	99.9	2.82	6,580	326.37
平成元	23,638	12,963	10,675	153,456	162,281	-8,825	99.9	2.79	6,586	326.37
2	23,025	12,996	10,029	151,206	160,744	-9,538	100.0	2.72	6,602	326.37
3	22,543	13,528	9,015	154,972	159,996	-5,024	100.2	2.68	6,615	326.37
4	23,018	13,597	9,421	151,074	157,272	-6,198	100.2	2.65	6,624	326.37
5	22,212	13,842	8,370	149,878	161,542	-11,664	100.2	2.62	6,614	326.37
6	22,208	13,832	8,376	151,055	164,851	-13,796	99.9	2.59	6,598	326.37
7	21,983	14,470	7,513	153,786	164,758	-10,972	99.5	2.56	6,594	326.37
8	21,162	14,440	6,722	153,798	161,620	-7,822	99.5	2.53	6,591	326.35
9	21,363	14,395	6,968	156,865	160,541	-3,676	99.5	2.50	6,601	326.35
10	21,444	14,809	6,635	155,648	154,979	669	99.5	2.47	6,624	326.35
11	21,399	15,356	6,043	153,209	153,605	-396	99.3	2.44	6,639	326.45
12	20,858	15,363	5,495	152,679	151,839	840	99.1	2.42	6,652	326.45
13	20,835	15,393	5,442	154,113	153,661	452	98.9	2.39	6,670	326.45
14	20,427	15,851	4,576	153,868	149,820	4,048	98.8	2.37	6,697	326.45
15	19,936	16,055	3,881	154,359	150,939	3,420	98.6	2.35	6,719	326.45
16	20,189	16,419	3,770	156,096	151,131	4,965	98.5	2.33	6,746	326.45
17	19,647	17,412	2,235	160,119	149,323	10,796	98.6	2.32	6,785	326.45
18	19,851	17,711	2,140	157,545	151,599	5,946	98.7	2.29	6,810	326.45
19	20,357	17,618	2,739	158,781	148,107	10,674	98.8	2.27	6,851	326.45
20	20,924	18,610	2,314	158,111	149,234	8,877	98.8	2.25	6,886	326.43
21	20,725	18,622	2,103	160,682	152,649	8,033	98.8	2.23	6,917	326.43
22	20,665	19,224	1,441	148,756	149,356	-600	97.3	2.22	6,935	326.43
23	20,459	19,844	615	147,449	145,441	2,008	97.1	2.20	6,943	326.43
24	19,984	19,827	157	148,069	147,892	177	97.0	2.21	6,944	326.43
25	20,229	20,430	-201	151,212	146,482	4,730	97.1	2.20	6,958	326.43
26	19,787	20,596	-809	152,508	146,489	6,019	97.1	2.18	6,974	326.44
27	20,288	21,304	-1,016	155,237	146,527	8,710	97.6	2.17	7,032	326.45
28	20,255	21,249	-994	158,263	148,113	10,150	97.6	2.15	7,060	326.45
29	19,716	21,768	-2,052	159,488	148,105	11,383	97.6	2.13	7,089	326.45
30	19,695	22,675	-2,980	163,035	153,819	9,216	97.5	2.10	7,107	326.50
令和元	18,605	23,238	-4,633	171,406	159,577	11,829	97.6	2.08	7,129	326.50
2	18,459	23,215	-4,756	161,702	156,365	5,337	96.7	2.08	7,143	326.50
3	17,757	24,179	-6,422	154,902	154,740	162	96.6	2.06	7,124	326.50
4	17,020	26,125	-9,105	164,514	155,547	8,967	96.4	2.03	7,123	326.50
5	16,615	26,144	-9,529	167,820	157,386	10,434	96.4	2.01	7,126	326.50

(注1) 昭和60年、平成2年、7年、12年、17年、22年、27年及び令和2年の人口及び世帯数は、国勢調査結果による。(各年10月1日現在)

(注2) 人口増減数及び世帯増減数は、当該年10月1日現在の値から前年10月1日現在の値を差引いたものである。

(注3) 転入数、転出数及び社会増減数には、市内区間移動及びその他の増減(職権による記載または消除等による増減、平成24年7月の法改正に伴う外国人人口の取扱変更による数値変動)を含む。

(注4) 面積は、国土交通省国土地理院調査による。ただし、公有水面埋立地編入分を含む。

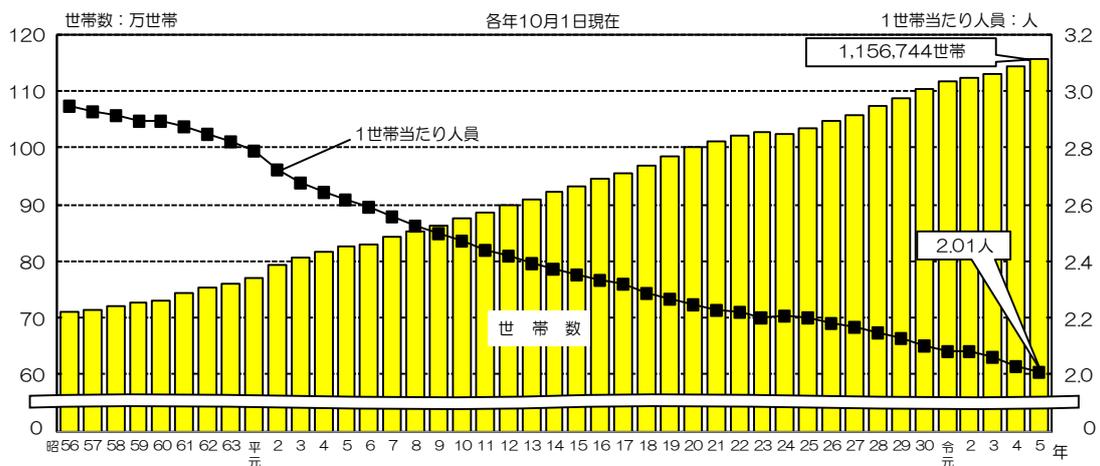
2 世帯数

令和5年10月1日現在の本市の世帯数は、前年より13,625世帯増の1,156,744世帯で、過去最大となった。また、1世帯当たり人員は過去最小の2.01人で、前年より0.02人減少した。

本市の世帯数の推移をみると、平成24年7月の法改正（外国人登録法の廃止と住民基本台帳法の改正）に伴う世帯数の取扱変更等による数値変動を受けて世帯数が減少した平成24年を除き、昭和56年以降一貫して増加を続けている。また、1世帯当たり人員は、昭和56年以降、法改正のあった平成24年を除き一貫して減少を続けており、核家族化や単独世帯の増加等により、世帯規模が縮小していると考えられる。

[付表1、図3]

図3 世帯数及び1世帯当たり人員の推移



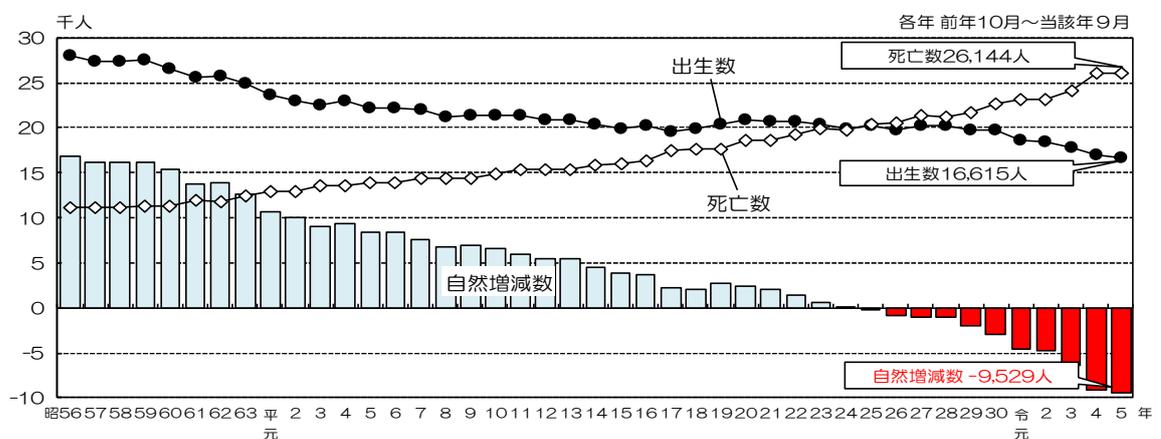
3 自然動態

令和5年の出生数は16,615人（前年比405人減）、死亡数は26,144人（前年比19人増）で、自然増減数（出生数－死亡数）は9,529人の自然減（前年比424人減）となり、初めて自然減となった平成25年以降11年連続の自然減となった。昭和56年には2万8千人台だった出生数は年々減少し、平成15年には2万人台を下回った。それ以降はしばらくの間2万人前後で推移していたが、令和5年は平成28年以降8年連続の減少となり、昭和56年以降で最も少なくなった。

一方、死亡数は昭和56年以降増加傾向にあり、令和5年は昭和56年以降で最も多くなった。

[付表1、図4]

図4 出生数、死亡数及び自然増減数の推移



4 社会動態

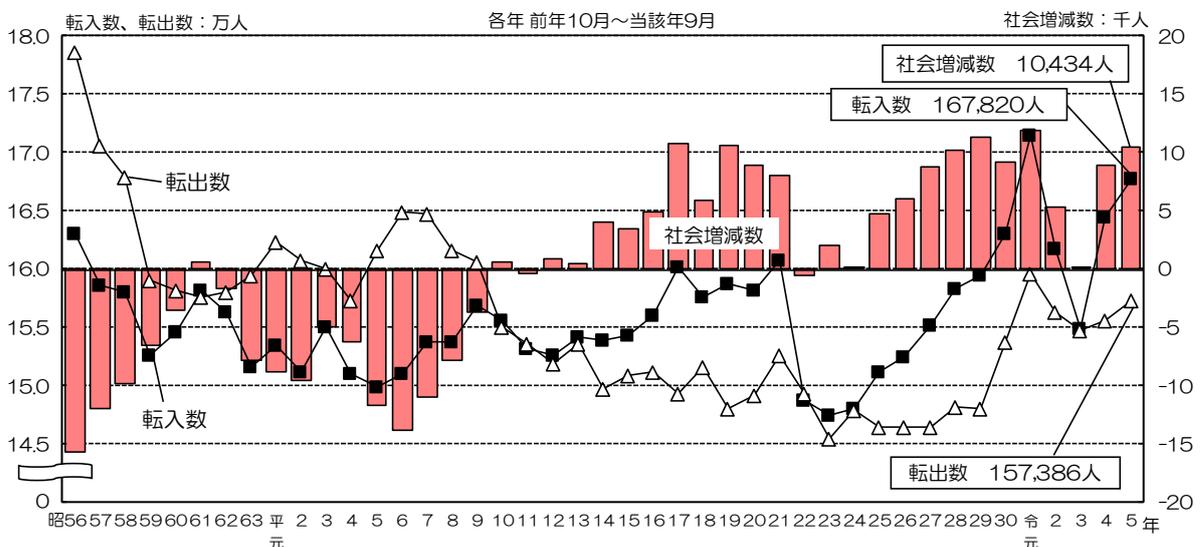
(1) 年次推移

令和5年の転入数は167,820人（前年比3,306人増）、転出数は157,386人（前年比1,839人増）で、社会増減数（転入数－転出数）は10,434人（前年比1,467人増）の社会増となり、転入数が増加した影響により、社会増は前年と比べ拡大した。

昭和56年以降の社会動態の推移をみると、平成9年までは昭和61年を除いて転出数が転入数を上回り社会減（本市からの転出超過）となっていたが、平成12年以降は転入数が転出数を上回り10年連続で社会増（本市への転入超過）となった。平成22年に11年ぶりに社会減となったが、平成23年以降は13年連続で社会増となった。

[付表1、図5]

図5 転入数、転出数及び社会増減数の推移



(注) 転入数、転出数及び社会増減数には、市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減、平成24年7月の法改正に伴う外国人人口の取扱変更による数値変動）を含む。

(2) 地域別

令和5年の移動を地域別にみると、本市への転入数が最も多いのは、愛知県内他市町村の33,937人で、次いで国外の20,794人、中部（愛知県を除く）の18,877人であった。一方、本市からの転出数が最も多いのは、愛知県内他市町村の31,865人で、次いで関東の22,767人、中部（愛知県を除く）の15,246人であった。

本市からみた社会増減数をみると、社会増となった地域では、国外（※1）の11,951人が最も多く、次いで中部（愛知県を除く）の3,631人、愛知県内他市町村の2,072人であった。一方、社会減となった地域は、関東の6,232人が最も多く、次いで近畿の612人、九州の192人であった。平成25年以降の地域別の社会増減数の推移をみると、社会増が最も大きい地域は、平成26年から令和2年まで7年連続で国外となっており、令和3年は中部（愛知県を除く）が最大となったものの、令和4年以降は再び国外が最大となっている。

国外に対しては、平成25年から令和元年まで社会増の拡大が続き、令和2年、3年は新型コロナウイルスの影響により大きく縮小したが、令和4年からは再び社会増が拡大しており、令和5年は平成25年以降で最も大きい社会増になった。愛知県内他市町村に対しては、令和5年は前年に比べると社会増が拡大した。関東に対しては、平成25年以降一貫して社会減であり、平成30年以降、5千人前後の社会減で推移していたが、令和5年は初めて6千人を上回る社会減となった。

[図6～8、付表2]

図6 地域別本市への転入数及び本市からの転出数（令和4年と令和5年の比較）

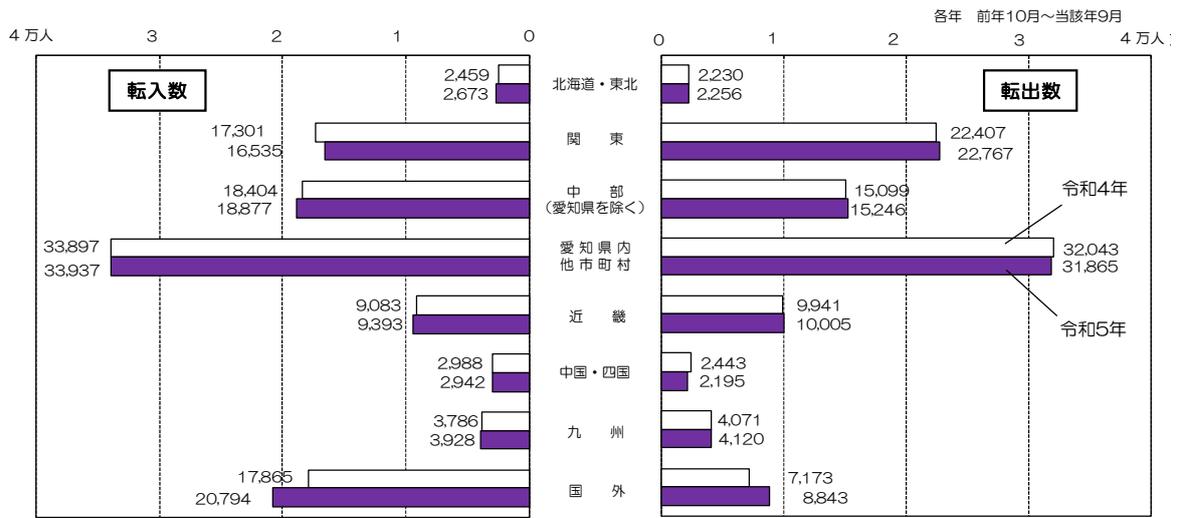


図7 地域別本市からみた社会増減数（令和4年と令和5年の比較）

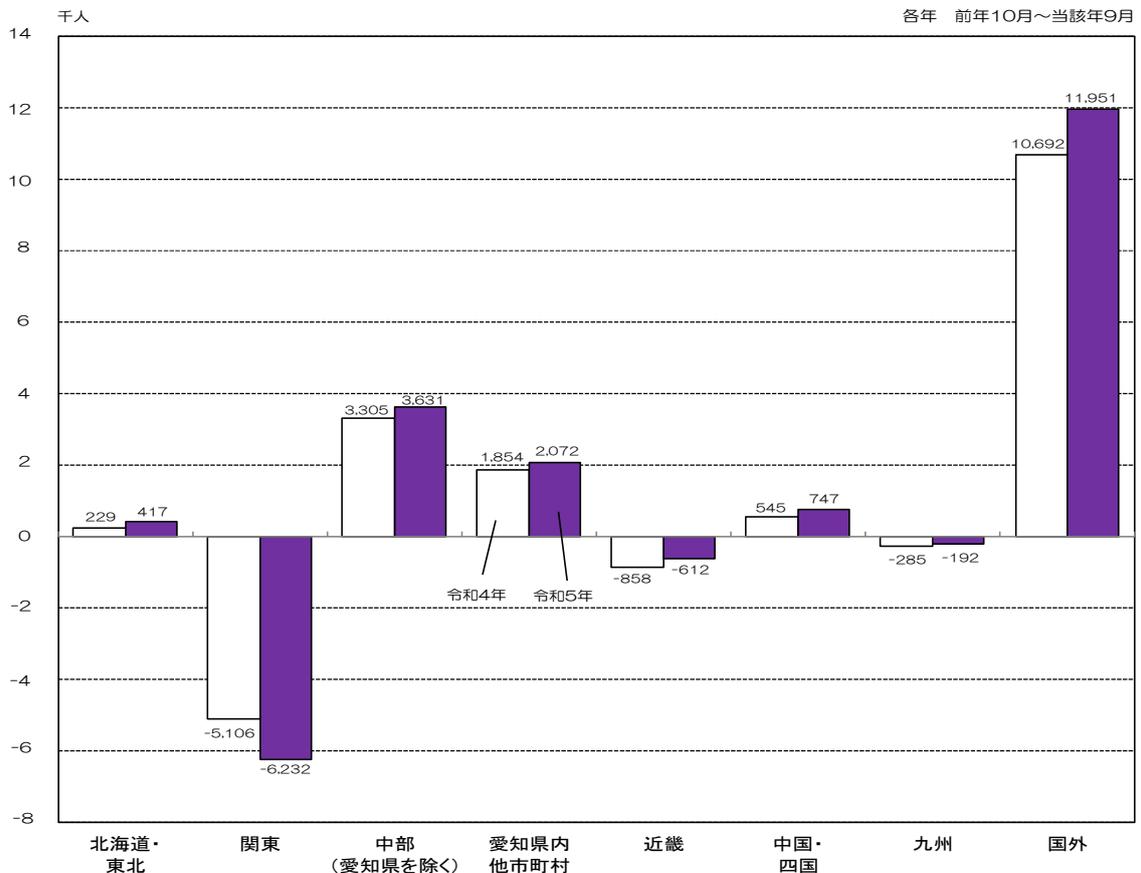
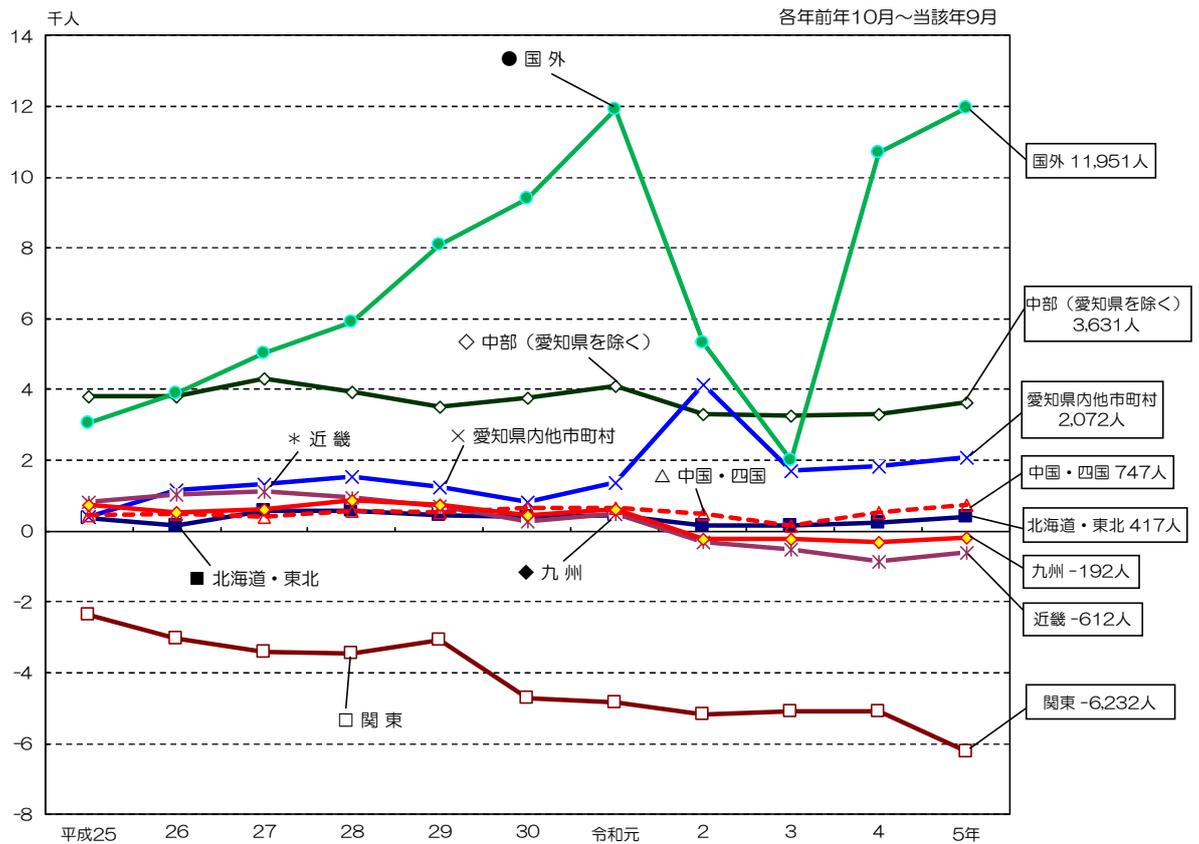


図8 地域別本市からみた社会増減数の推移



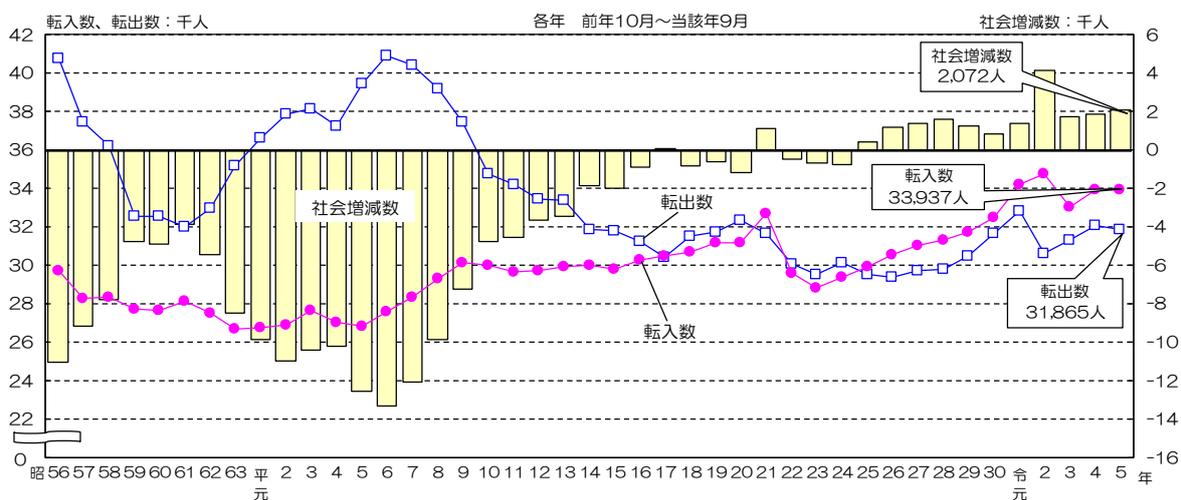
付表2 地域別本市への転入数、本市からの転出数及び社会増減数の推移

地域別	各年前年10月～当該年9月										
	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
転入数											
北海道・東北	2,663	2,436	2,772	2,822	2,672	2,611	2,731	2,510	2,382	2,459	2,673
関東	16,511	16,385	16,690	17,042	17,547	17,441	17,997	16,924	16,845	17,301	16,535
中部 (愛知県を除く)	17,659	17,472	17,819	17,875	17,566	18,304	19,083	18,249	17,705	18,404	18,877
愛知県内他市町村	29,898	30,516	31,038	31,305	31,731	32,450	34,195	34,754	33,041	33,897	33,937
近畿	9,461	9,320	9,770	9,725	9,701	9,518	10,086	9,265	9,218	9,083	9,393
中国・四国	2,853	2,938	2,859	2,964	2,912	2,989	2,999	2,930	2,726	2,988	2,942
九州	4,732	4,494	4,637	4,871	4,671	4,354	4,663	3,961	3,754	3,786	3,928
国外	9,485	10,740	12,152	13,556	15,720	17,613	20,563	11,821	8,499	17,865	20,794
転出数											
北海道・東北	2,309	2,275	2,190	2,244	2,232	2,185	2,297	2,352	2,233	2,230	2,256
関東	18,885	19,432	20,088	20,515	20,615	22,170	22,857	22,117	21,948	22,407	22,767
中部 (愛知県を除く)	13,862	13,644	13,489	13,943	14,030	14,518	14,993	14,944	14,459	15,099	15,246
愛知県内他市町村	29,477	29,334	29,697	29,756	30,478	31,610	32,834	30,625	31,321	32,043	31,865
近畿	8,623	8,299	8,659	8,753	9,010	9,232	9,613	9,573	9,714	9,941	10,005
中国・四国	2,385	2,430	2,451	2,398	2,378	2,343	2,325	2,434	2,582	2,443	2,195
九州	3,973	3,952	4,033	3,993	3,933	3,919	4,065	4,162	3,958	4,071	4,120
国外	6,417	6,844	7,133	7,667	7,615	8,238	8,633	6,485	6,516	7,173	8,843
社会増減数											
北海道・東北	354	161	582	578	440	426	434	158	149	229	417
関東	-2,374	-3,047	-3,398	-3,473	-3,068	-4,729	-4,860	-5,193	-5,103	-5,106	-6,232
中部 (愛知県を除く)	3,797	3,828	4,330	3,932	3,536	3,786	4,090	3,305	3,246	3,305	3,631
愛知県内他市町村	421	1,182	1,341	1,549	1,253	840	1,361	4,129	1,720	1,854	2,072
近畿	838	1,021	1,111	972	691	286	473	-308	-496	-858	-612
中国・四国	468	508	408	566	534	646	674	496	144	545	747
九州	759	542	604	878	738	435	598	-201	-204	-285	-192
国外	3,068	3,896	5,019	5,889	8,105	9,375	11,930	5,336	1,983	10,692	11,951

(3) 地域別 - 県内移動

愛知県内各市町村との移動は、昭和56年以降長い間社会減が続いていた。平成6年には本市からの転出数及び社会減がともに最大となったが、その後は次第に本市からの転出数が減少するとともに、本市への転入数も増加し、平成17年に初めて社会増となった。平成18年以降は、平成21年を除き社会減が続いたが、平成25年に再び社会増に転じて以降は、11年連続して社会増となっている。 [付表2、図9]

図9 愛知県内各市町村との転入数、転出数及び社会増減数の推移



付表3 愛知県内各市町村との転入数、転出数及び社会増減数（市町村別）（令和4年と令和5年の比較）

前住地又は 転出地	令和5年			令和4年			増減数（令和5年－令和4年）		
	転入数	転出数	社会増減数	転入数	転出数	社会増減数	転入数	転出数	社会増減数
各年前年10月～当該年9月									
令和5年の社会増上位10市町村									
豊田市	2,232	1,698	534	2,163	1,589	574	69	109	-40
豊橋市	1,206	855	351	1,208	899	309	-2	-44	42
岡崎市	1,715	1,431	284	1,769	1,448	321	-54	-17	-37
東海市	1,204	1,017	187	1,209	1,055	154	-5	-38	33
春日井市	3,010	2,836	174	3,133	2,897	236	-123	-61	-62
刈谷市	1,171	1,001	170	1,337	1,014	323	-166	-13	-153
安城市	949	789	160	957	866	91	-8	-77	69
豊明市	861	715	146	829	688	141	32	27	5
西尾市	558	435	123	525	379	146	33	56	-23
半田市	597	496	101	679	574	105	-82	-78	-4
令和5年の社会減上位10市町村									
あま市	863	1,088	-225	899	1,037	-138	-36	51	-87
清須市	894	1,038	-144	980	948	32	-86	90	-176
大治町	506	638	-132	572	736	-164	-66	-98	32
尾張旭市	1,003	1,081	-78	956	1,025	-69	47	56	-9
北名古屋	972	1,046	-74	834	1,088	-254	138	-42	180
岩倉市	385	455	-70	415	432	-17	-30	23	-53
愛西市	313	383	-70	342	367	-25	-29	16	-45
日進市	1,281	1,333	-52	1,260	1,430	-170	21	-97	118
常滑市	359	406	-47	382	317	65	-23	89	-112
蟹江町	454	497	-43	515	527	-12	-61	-30	-31

付表4 愛知県内他市町との人口移動数（転入数と転出数の合計）（市町村別）（令和4年と令和5年の比較）

各年前年10月～当該年9月

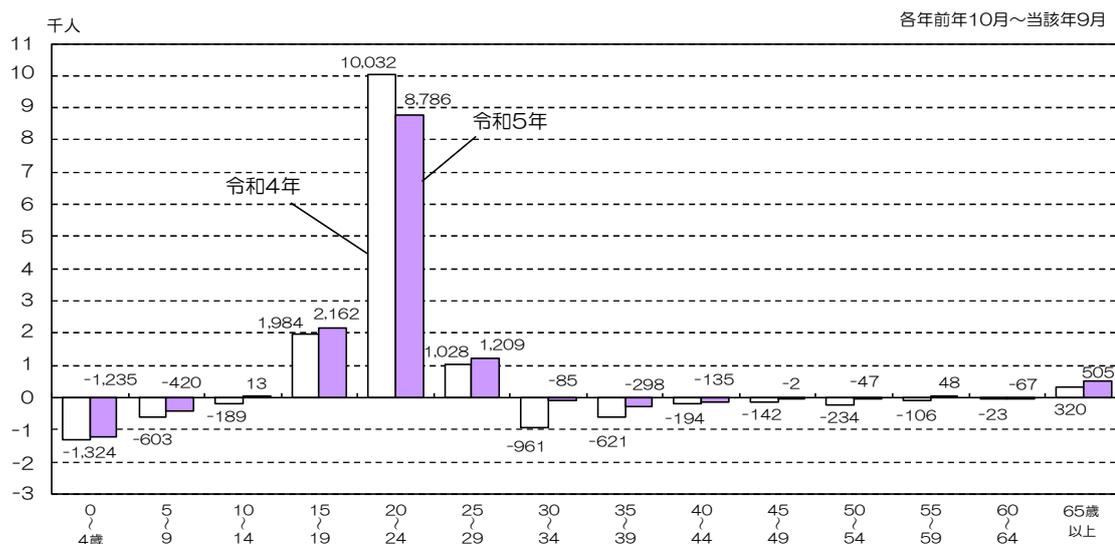
市町村名	令和5年			令和4年			増減数（令和5年－令和4年）		
	人口移動数	転入数	転出数	人口移動数	転入数	転出数	人口移動数	転入数	転出数
令和5年の人口移動数（転入数と転出数の合計）上位10市町村									
春日井市	5,846	3,010	2,836	6,030	3,133	2,897	-184	-123	-61
豊田市	3,930	2,232	1,698	3,752	2,163	1,589	178	69	109
一宮市	3,575	1,801	1,774	3,507	1,818	1,689	68	-17	85
岡崎市	3,146	1,715	1,431	3,217	1,769	1,448	-71	-54	-17
日進市	2,614	1,281	1,333	2,690	1,260	1,430	-76	21	-97
東海市	2,221	1,204	1,017	2,264	1,209	1,055	-43	-5	-38
刈谷市	2,172	1,171	1,001	2,351	1,337	1,014	-179	-166	-13
尾張旭市	2,084	1,003	1,081	1,981	956	1,025	103	47	56
豊橋市	2,061	1,206	855	2,107	1,208	899	-46	-2	-44
小牧市	2,054	1,017	1,037	1,999	994	1,005	55	23	32

令和5年の愛知県内他市町村との社会増減数について、社会増となった市町村をみると、豊田市の534人が最も多く、次いで豊橋市の351人、岡崎市の284人であった。一方、社会減となった市町村では、あま市の225人が最も多く、次いで清須市の144人、大治町の132人であった。令和5年の愛知県内他市町村との人口移動数をみると、最も多いのは、春日井市の5,846人で他の市町村を大きく上回っており、次いで豊田市の3,930人、一宮市の3,575人であった。 [付表3～4]

(4) 年齢階級別

令和5年の年齢5歳階級別の社会増減数をみると、社会増となったのは「10～14歳」、「15～19歳」、「20～24歳」、「25～29歳」、「55～59歳」及び「65歳以上」の階級であり、なかでも、「20～24歳」の社会増が最も大きくなった。前年との比較では、「10～14歳」及び「55～59歳」で社会減から社会増に転じた。また、「20～24歳」で社会増が最も縮小した。 [図10、付表5]

図10 年齢5歳階級別社会増減数（令和4年と令和5年の比較）



(注) 市内区間移動、その他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

付表5 年齢5歳階級別転入数、転出数及び社会増減数の推移

各年 前年10月～当該年9月

年齢階級別	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
	転 入 数										
総 数	151,212	152,508	155,237	158,263	159,488	163,035	171,406	161,702	154,902	164,514	167,820
0～4歳	9,860	9,895	9,876	9,829	9,800	9,333	9,589	8,702	8,137	8,239	8,039
5～9	4,759	4,707	4,526	4,781	4,310	4,342	4,335	4,196	3,739	3,794	3,867
10～14	2,455	2,522	2,370	2,500	2,239	2,197	2,274	2,254	1,905	2,120	2,180
15～19	6,261	6,459	6,577	6,874	7,116	7,530	8,115	6,560	6,075	6,750	7,719
20～24	23,571	23,998	25,385	27,099	28,868	31,558	34,313	31,261	30,323	35,284	35,329
25～29	28,634	28,797	29,242	29,874	30,641	31,773	34,426	33,204	32,535	35,432	35,905
30～34	22,105	22,192	22,714	22,661	23,031	22,877	23,389	21,973	20,802	21,262	21,991
35～39	15,510	15,170	15,151	14,990	14,499	14,208	14,844	14,351	13,339	13,314	13,343
40～44	10,870	11,078	11,056	11,281	10,750	9,837	10,188	9,570	8,774	8,666	8,703
45～49	7,041	7,364	7,503	7,821	7,829	7,988	8,134	8,136	7,564	7,211	7,233
50～54	4,947	4,900	5,227	5,451	5,368	5,632	5,831	5,962	6,016	6,113	6,357
55～59	3,608	3,503	3,807	3,749	3,711	3,982	4,082	4,198	4,136	4,217	4,562
60～64	3,363	3,115	2,884	2,801	2,617	2,772	2,660	2,806	2,832	2,830	2,999
65歳以上	8,227	8,808	8,919	8,552	8,707	9,004	9,226	8,528	8,724	9,282	9,593
	転 出 数										
総 数	146,482	146,489	146,527	148,113	148,105	153,819	159,577	156,365	154,740	155,547	157,386
0～4歳	10,735	10,756	10,478	10,606	10,579	10,618	10,571	9,856	9,785	9,563	9,274
5～9	5,235	5,076	4,983	4,860	4,592	4,720	4,638	4,486	4,524	4,397	4,287
10～14	2,717	2,687	2,487	2,435	2,295	2,277	2,197	2,268	2,206	2,309	2,167
15～19	4,876	4,844	4,897	5,001	4,994	5,344	5,807	5,247	4,748	4,766	5,557
20～24	18,169	18,457	19,203	20,434	21,415	23,339	25,946	25,936	24,342	25,252	26,543
25～29	27,874	27,996	28,038	28,542	28,874	30,852	32,514	32,766	33,003	34,404	34,696
30～34	22,311	22,437	22,349	22,325	22,753	23,105	23,394	22,441	22,319	22,223	22,076
35～39	15,844	15,327	15,016	14,613	14,509	14,536	14,829	14,615	14,500	13,935	13,641
40～44	11,026	11,226	11,092	11,109	10,400	10,155	10,013	9,490	9,309	8,860	8,838
45～49	7,008	7,438	7,341	7,670	7,691	8,010	8,106	8,056	7,878	7,353	7,235
50～54	5,002	4,948	5,217	5,476	5,225	5,633	5,878	5,949	6,232	6,347	6,404
55～59	3,733	3,681	3,859	3,760	3,823	3,998	4,155	4,159	4,321	4,323	4,514
60～64	3,607	3,143	2,950	2,815	2,631	2,766	2,715	2,832	2,981	2,853	3,066
65歳以上	8,344	8,472	8,617	8,467	8,322	8,464	8,814	8,263	8,592	8,962	9,088
	社 会 増 減 数										
総 数	4,730	6,019	8,710	10,150	11,383	9,216	11,829	5,337	162	8,967	10,434
0～4歳	-875	-861	-602	-777	-779	-1,285	-982	-1,154	-1,648	-1,324	-1,235
5～9	-476	-369	-457	-79	-282	-378	-303	-290	-785	-603	-420
10～14	-262	-165	-117	65	-56	-80	77	-14	-301	-189	13
15～19	1,385	1,615	1,680	1,873	2,122	2,186	2,308	1,313	1,327	1,984	2,162
20～24	5,402	5,541	6,182	6,665	7,453	8,219	8,367	5,325	5,981	10,032	8,786
25～29	760	801	1,204	1,332	1,767	921	1,912	438	-468	1,028	1,209
30～34	-206	-245	365	336	278	-228	-5	-468	-1,517	-961	-85
35～39	-334	-157	135	377	-10	-328	15	-264	-1,161	-621	-298
40～44	-156	-148	-36	172	350	-318	175	80	-535	-194	-135
45～49	33	-74	162	151	138	-22	28	80	-314	-142	-2
50～54	-55	-48	10	-25	143	-1	-47	13	-216	-234	-47
55～59	-125	-178	-52	-11	-112	-16	-73	39	-185	-106	48
60～64	-244	-28	-66	-14	-14	6	-55	-26	-149	-23	-67
65歳以上	-117	336	302	85	385	540	412	265	132	320	505

(注1) 転入数、転出数には、それぞれ市内区間移動、その他増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

(注2) 総数には年齢不詳を含む。

(5) 年齢階級別 - 地域別

年齢階級ごとに地域別の社会増減数をみると、関東に対しては、男女とも全ての年齢階級で社会減となった。最も社会増が大きい年齢階級である「20～24歳」においては、男女とも国外に対する社会増が最も大きく、次いで中部（愛知県を除く）となった。社会減が最大であった「0～14歳」においては、男女とも愛知県内他市町村に対する社会減が最も大きく、次いで関東となった。 [付表6、図11～13]

付表6 年齢階級別（8区分） 地域別男女別社会増減数

令和4年10月～令和5年9月									
地域別	総数	0～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～39歳	40～49歳	50～64歳	65歳以上
総 数									
総数	11,780	-1,726	2,113	9,351	1,805	-12	-114	-88	451
北海道・東北	417	-5	25	243	49	31	28	30	16
関東	-6,232	-708	-489	-924	-1,972	-1,202	-519	-311	-107
中部（愛知県を除く）	3,631	-10	459	2,013	772	229	121	-34	81
愛知県内他市町村	2,072	-893	-59	1,445	809	-266	224	377	435
近畿	-612	-355	-193	804	-68	-331	-231	-251	13
中国・四国	747	23	25	468	212	104	-29	-53	-3
九州	-192	-201	143	369	-50	-166	-126	-141	-20
国外	11,951	423	2,202	4,933	2,053	1,589	419	295	37
うち男性									
総数	6,275	-946	1,061	5,051	1,085	54	-133	-40	143
北海道・東北	218	-6	15	135	42	14	14	9	-5
関東	-3,098	-354	-246	-214	-1,119	-696	-247	-192	-30
中部（愛知県を除く）	1,281	-15	193	715	325	67	19	-1	-22
愛知県内他市町村	813	-486	-77	442	558	-105	52	160	269
近畿	-276	-163	-116	516	-39	-215	-105	-145	-9
中国・四国	350	7	-1	271	114	45	-24	-30	-32
九州	-153	-132	78	249	-41	-96	-79	-71	-61
国外	7,142	203	1,215	2,937	1,245	1,040	238	230	34
うち女性									
総数	5,505	-780	1,052	4,300	720	-66	19	-48	308
北海道・東北	199	1	10	108	7	17	14	21	21
関東	-3,134	-354	-243	-710	-853	-506	-272	-119	-77
中部（愛知県を除く）	2,350	5	266	1,298	447	162	102	-33	103
愛知県内他市町村	1,259	-407	18	1,003	251	-161	172	217	166
近畿	-336	-192	-77	288	-29	-116	-126	-106	22
中国・四国	397	16	26	197	98	59	-5	-23	29
九州	-39	-69	65	120	-9	-70	-47	-70	41
国外	4,809	220	987	1,996	808	549	181	65	3

(注) 総数には転出地不詳を含む。

图 11 年齢階級別地域別社会増減数（総数）

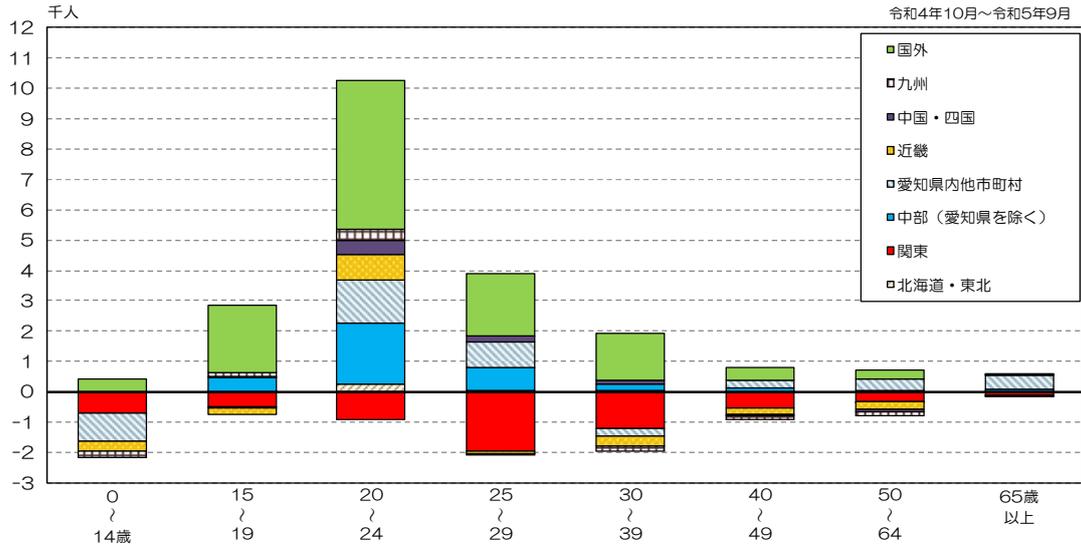


图 12 年齢階級別地域別社会増減数（男性）

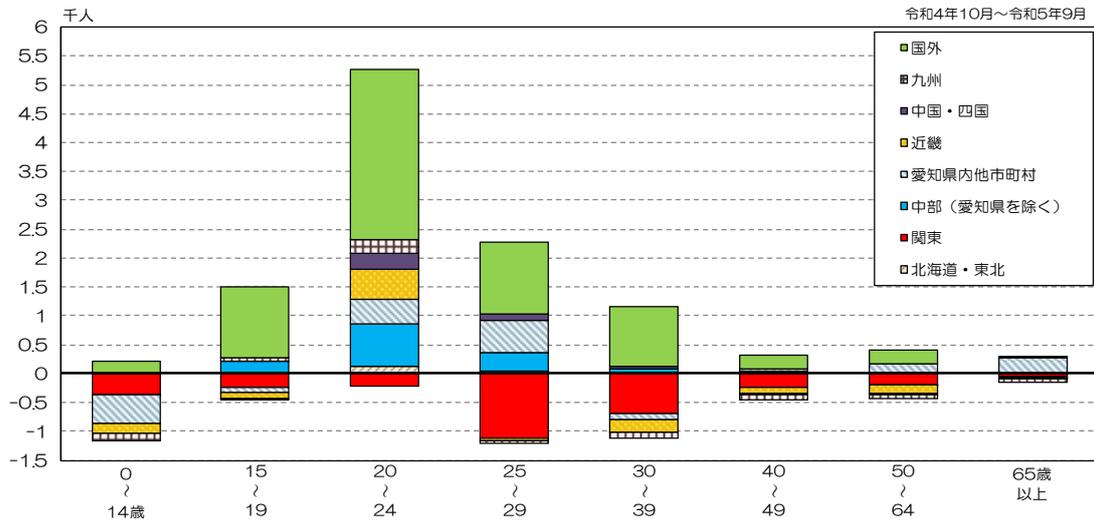
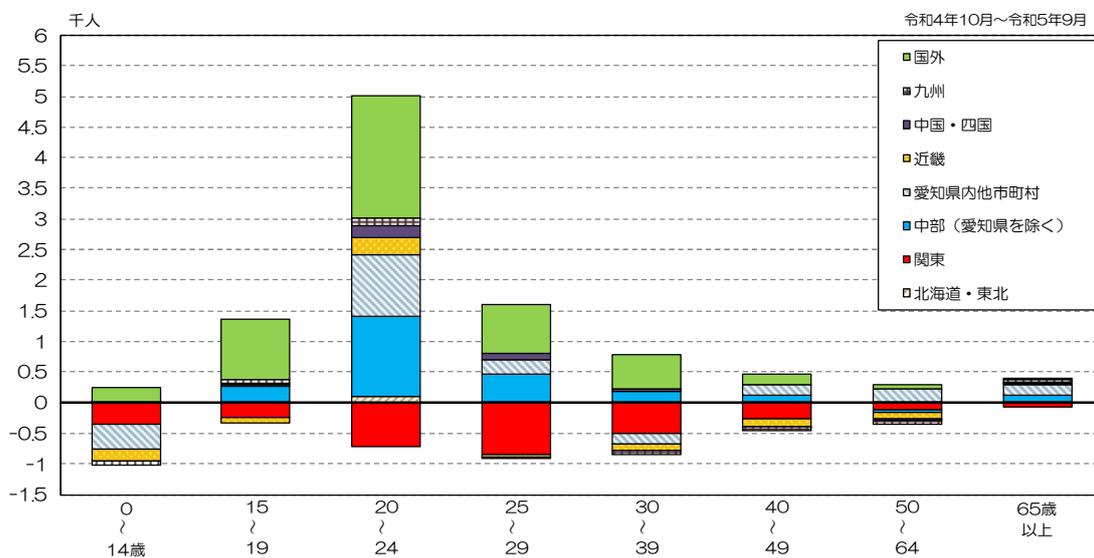


图 13 年齢階級別地域別社会増減数（女性）



5 区別動向

(1) 人口

令和5年10月1日現在、人口が最も多いのは緑区の247,701人、次いで中川区の217,934人、守山区の176,854人であった。緑区は平成16年以來20年連続で最多となった。一方、人口が最も少ないのは熱田区の67,084人、次いで東区の86,711人、中区の99,348人であった。人口が最多の緑区は最少の熱田区の約3.7倍の人口規模である。

また、前年と比べると、9区で人口が減少した。最も減少したのは天白区の1,002人、次いで南区の839人、緑区の633人であった。一方、人口が増加した区は7区で、中区の2,948人が最も多く、次いで中村区の1,104人であった。東区、中区の2区は、直近5年間、毎年人口が増加している。

[付表7、図14~15]

(2) 世帯数

令和5年10月1日現在、世帯数が最も多いのは緑区の104,252世帯、次いで中川区の103,739世帯、千種区の88,652世帯であった。一方、世帯数が最も少ないのは熱田区の35,021世帯、次いで東区の47,946世帯、瑞穂区の52,361世帯であった。また1世帯当たり人員をみると、緑区が2.38人と最も多く、次いで守山区の2.29人であった。一方、1世帯当たり人員が最も少ないのは、中区の1.42人、次いで中村区の1.79人であった。

[図15、付表8~9]

付表7 区別人口の推移

区別	平成30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	増減数				
							30~元年	元~2年	2~3年	3~4年	4~5年
全市	2,320,361	2,327,557	2,332,176	2,325,916	2,325,778	2,326,683	7,196	4,619	-6,260	-138	905
千種区	166,070	165,863	165,245	164,907	164,933	165,101	-207	-618	-338	26	168
東区	80,568	82,939	84,392	84,833	85,715	86,711	2,371	1,453	441	882	996
北区	163,712	163,555	162,956	162,621	161,812	161,250	-157	-599	-335	-809	-562
西区	149,830	150,480	151,082	150,605	151,028	151,108	650	602	-477	423	80
中村区	135,075	135,134	138,599	138,250	138,989	140,093	59	3,465	-349	739	1,104
中区	88,856	90,918	93,100	93,730	96,400	99,348	2,062	2,182	630	2,670	2,948
昭和区	109,596	110,436	107,599	107,659	108,129	108,361	840	-2,837	60	470	232
瑞穂区	107,197	107,622	108,332	107,988	107,715	107,690	425	710	-344	-273	-25
熱田区	66,162	66,318	66,957	66,815	66,783	67,084	156	639	-142	-32	301
中川区	220,660	220,782	220,728	219,348	218,262	217,934	122	-54	-1,380	-1,086	-328
港区	144,198	143,913	143,715	142,446	141,510	140,922	-285	-198	-1,269	-936	-588
南区	136,451	136,015	134,510	133,005	132,298	131,459	-436	-1,505	-1,505	-707	-839
守山区	175,471	176,298	176,587	176,879	177,224	176,854	827	289	292	345	-370
緑区	246,273	247,475	248,802	248,755	248,334	247,701	1,202	1,327	-47	-421	-633
名東区	165,589	165,287	164,755	163,719	162,884	162,307	-302	-532	-1,036	-835	-577
天白区	164,653	164,522	164,817	164,356	163,762	162,760	-131	295	-461	-594	-1,002

(注) 令和2年は国勢調査結果による。

図14 区別人口順位の推移

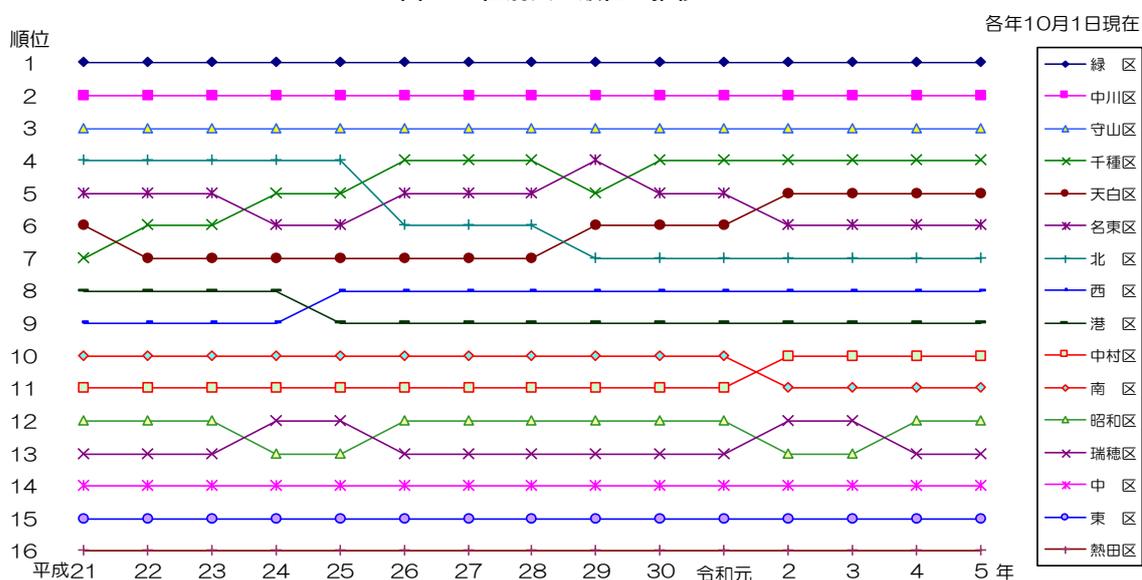
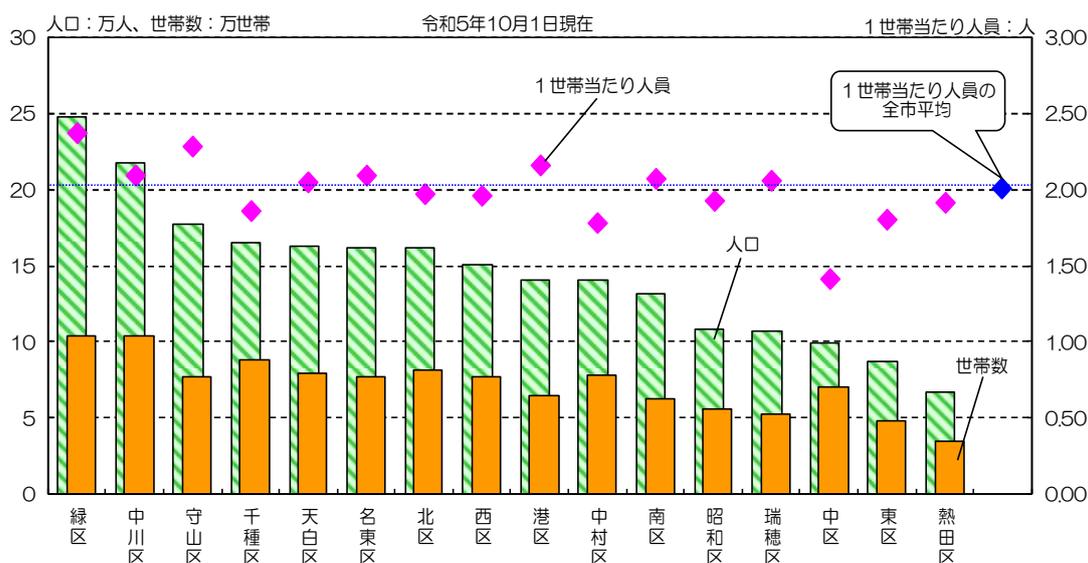


図 15 区別人口、世帯数及び1世帯当たり人員の比較（区別人口の上位順）



付表 8 区別世帯数の推移

区 別	各年10月1日現在						増減数				
	平成30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	30～元年	元～2年	2～3年	3～4年	4～5年
	全 市	1,102,535	1,117,913	1,122,103	1,129,461	1,143,119	1,156,744	15,378	4,190	7,358	13,658
千種区	87,371	87,722	86,281	86,925	87,693	88,652	351	-1,441	644	768	959
東 区	43,459	45,034	45,762	46,142	47,072	47,946	1,575	728	380	930	874
北 区	78,284	79,409	79,169	79,834	80,568	81,278	1,125	-240	665	734	710
西 区	72,629	73,638	74,257	74,785	76,013	76,944	1,009	619	528	1,228	931
中 村 区	69,944	70,736	74,793	75,256	76,530	78,061	792	4,057	463	1,274	1,531
中 区	59,140	61,422	63,159	64,267	67,245	70,055	2,282	1,737	1,108	2,978	2,810
昭 和 区	57,244	57,804	55,059	55,230	55,958	56,189	560	-2,745	171	728	231
瑞穂区	50,359	50,869	51,641	51,796	51,959	52,361	510	772	155	163	402
熱田区	32,811	33,223	33,791	33,960	34,347	35,021	412	568	169	387	674
中 川 区	99,199	100,818	101,148	101,625	102,585	103,739	1,619	330	477	960	1,154
港 区	62,823	63,742	63,885	63,951	64,510	65,101	919	143	66	559	591
南 区	63,102	63,814	62,606	62,342	62,698	63,061	712	-1,208	-264	356	363
守 山 区	72,790	73,959	74,939	75,716	76,564	77,229	1,169	980	777	848	665
緑 区	99,910	101,293	101,566	102,424	103,318	104,252	1,383	273	858	894	934
名 東 区	76,148	76,539	75,958	76,491	76,801	77,325	391	-581	533	310	524
天 白 区	77,322	77,891	78,089	78,717	79,258	79,530	569	198	628	541	272

(注) 令和2年は国勢調査結果による。

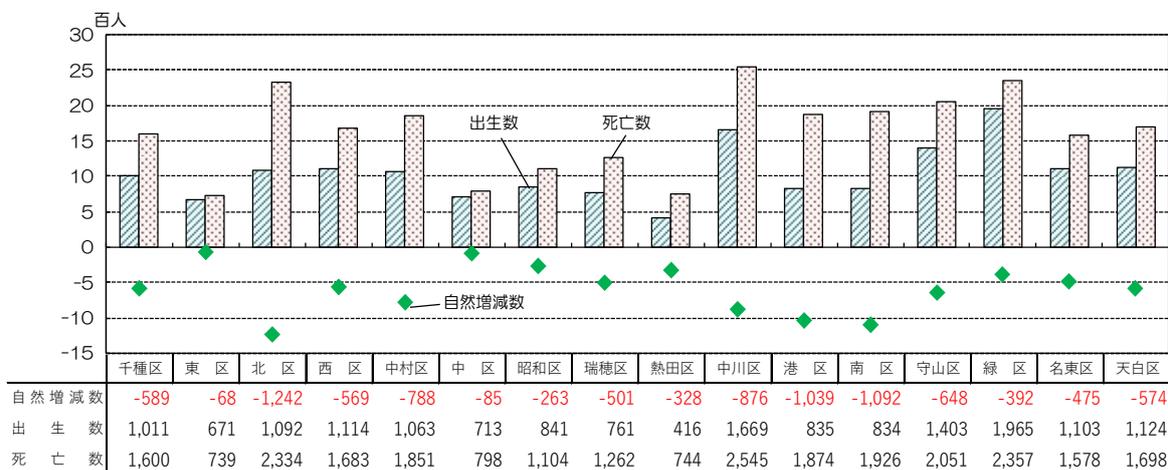
付表 9 区別1世帯当たり人員の推移

区 別	各年10月1日現在						増減数				
	平成30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	30～元年	元～2年	2～3年	3～4年	4～5年
	全 市	2.10	2.08	2.08	2.06	2.03	2.01	-0.02	-0.00	-0.02	-0.02
千種区	1.90	1.89	1.92	1.90	1.88	1.86	-0.01	0.03	-0.02	-0.02	-0.02
東 区	1.85	1.84	1.84	1.84	1.82	1.81	-0.01	0.00	-0.01	-0.02	-0.01
北 区	2.09	2.06	2.06	2.04	2.01	1.98	-0.03	-0.00	-0.02	-0.03	-0.03
西 区	2.06	2.04	2.03	2.01	1.99	1.96	-0.02	-0.01	-0.02	-0.03	-0.03
中 村 区	1.93	1.91	1.85	1.84	1.82	1.79	-0.02	-0.06	-0.02	-0.02	-0.03
中 区	1.50	1.48	1.47	1.46	1.43	1.42	-0.02	-0.01	-0.02	-0.02	-0.01
昭 和 区	1.91	1.91	1.95	1.95	1.93	1.93	0.00	0.04	-0.00	-0.02	-0.00
瑞穂区	2.13	2.12	2.10	2.08	2.07	2.06	-0.01	-0.02	-0.01	-0.01	-0.01
熱田区	2.02	2.00	1.98	1.97	1.94	1.92	-0.02	-0.02	-0.01	-0.02	-0.02
中 川 区	2.22	2.19	2.18	2.16	2.13	2.10	-0.03	-0.01	-0.02	-0.03	-0.03
港 区	2.30	2.26	2.25	2.23	2.19	2.16	-0.04	-0.01	-0.02	-0.03	-0.03
南 区	2.16	2.13	2.15	2.13	2.11	2.08	-0.03	0.02	-0.02	-0.02	-0.03
守 山 区	2.41	2.38	2.36	2.34	2.31	2.29	-0.03	-0.02	-0.02	-0.02	-0.02
緑 区	2.46	2.44	2.45	2.43	2.40	2.38	-0.02	0.01	-0.02	-0.03	-0.02
名 東 区	2.17	2.16	2.17	2.14	2.12	2.10	-0.01	0.01	-0.03	-0.02	-0.02
天 白 区	2.13	2.11	2.11	2.09	2.07	2.05	-0.02	0.00	-0.02	-0.02	-0.02

(3) 自然動態

令和5年の区別の自然増減数は、全ての区で自然減となり、北区の1,242人が最も多く、次いで南区の1,092人、港区の1,039人であった。平成25年以降の推移をみると、北区、西区、中村区、昭林区、瑞穂区、熱田区、港区及び南区は一貫して自然減となっている。 [図16、付表10]

図16 区別出生数、死亡数及び自然増減数（令和4年10月～令和5年9月）



付表10 区別自然増減数の推移

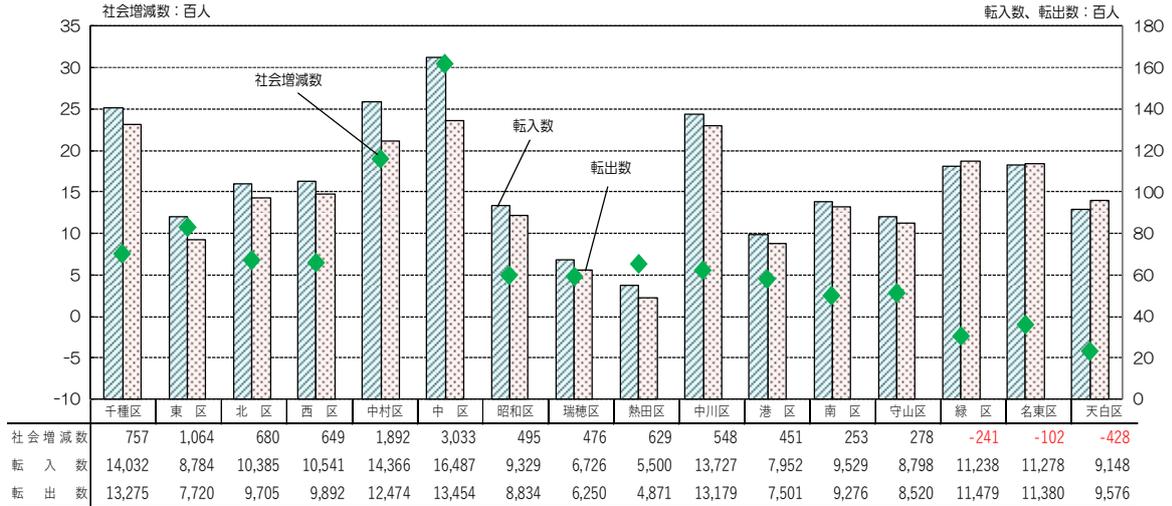
区別	各年前年10月～当該年9月										
	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
全市	-201	-809	-1,016	-994	-2,052	-2,980	-4,633	-4,756	-6,422	-9,105	-9,529
千種区	23	-18	-5	-67	-139	-203	-329	-310	-427	-589	-589
東区	25	-3	-61	1	-79	-11	-16	19	-56	-72	-68
北区	-254	-404	-455	-472	-547	-655	-732	-754	-887	-1,007	-1,242
西区	-41	-99	-65	-79	-144	-195	-271	-384	-426	-633	-569
中村区	-554	-487	-476	-499	-415	-571	-627	-583	-669	-822	-788
中区	4	44	93	72	54	37	36	-12	-18	-137	-85
昭林区	-146	-70	-145	-44	-84	-150	-199	-194	-215	-305	-263
瑞穂区	-209	-151	-215	-172	-155	-174	-216	-289	-359	-426	-501
熱田区	-175	-172	-199	-132	-198	-269	-311	-211	-273	-322	-328
中川区	124	-19	37	-123	-243	-200	-433	-496	-736	-991	-876
港区	-234	-316	-480	-424	-541	-585	-755	-681	-788	-1,006	-1,039
南区	-520	-618	-604	-558	-561	-639	-826	-714	-952	-1,083	-1,092
守山区	439	121	180	117	45	-82	-201	-245	-264	-587	-648
緑区	721	721	738	785	540	508	281	219	78	-333	-392
名東区	310	346	387	373	198	153	-2	-79	-263	-368	-475
天白区	286	316	254	228	217	56	-32	-42	-167	-424	-574

(4) 社会動態

令和5年の区別の社会増減数は、13区で社会増となり、中区の3,033人が最も多く、次いで中村区の1,892人、東区の1,064人であった。一方、3区で社会減となり、天白区の428人が最も多く、次いで緑区の241人、名東区の102人であった。平成25年以降の推移をみると、千種区、東区、中村区、中区、昭林区、瑞穂区、熱田区及び守山区は一貫して社会増となっている。

社会増減数について市外移動と市内区間移動の内訳をみると、12区で市外移動が社会増となり、中区の3,124人が最も多く、次いで中村区の2,147人であった。一方、市外移動が社会減となっているのは4区で、名東区の160人が最も多く、次いで緑区の113人であった。また、8区で市内区間移動が社会増となり、守山区の398人が最も多く、次いで東区の222人であった。一方、市内区間移動が社会減となっているのは8区で、南区の380人が最も多く、次いで中川区の325人であった。 [図17～18、付表11]

図 17 区別転入数、転出数及び社会増減数（令和 4 年 10 月～令和 5 年 9 月）



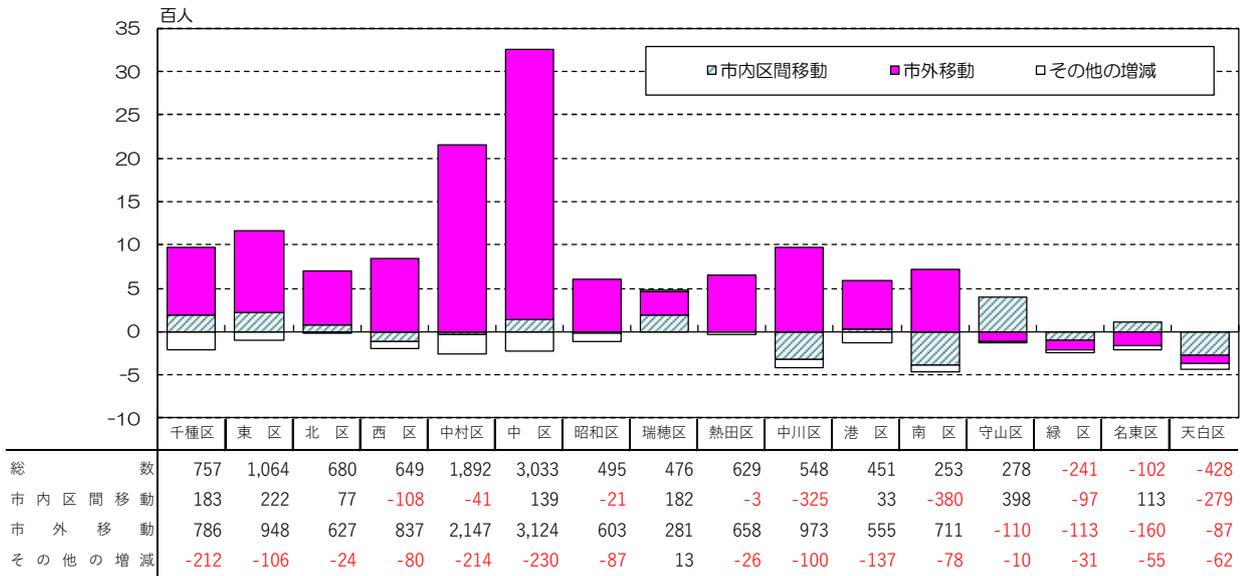
(注) 転入数、転出数には、市内区間移動、その他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

付表 11 区別社会増減数の推移

区別	各年前年10月～当該年9月										
	平成25年	26年	27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年
全市	4,730	6,019	8,710	10,150	11,383	9,216	11,829	5,337	162	8,967	10,434
千種区	1,397	599	826	814	723	246	122	300	89	615	757
東区	302	838	527	384	679	1,551	2,387	1,106	497	954	1,064
北区	79	-395	169	590	488	729	575	639	552	198	680
西区	735	606	1,178	626	333	191	921	37	-51	1,056	649
中村区	435	420	682	1,410	978	966	686	188	320	1,561	1,892
中区	1,575	543	856	1,339	1,893	2,258	2,026	661	648	2,807	3,033
昭和区	292	768	743	1,301	843	560	1,039	487	275	775	495
瑞穂区	1	94	521	1,019	999	323	641	859	15	153	476
熱田区	109	415	436	308	517	41	467	338	131	290	629
中川区	-498	-485	-130	103	533	309	555	-57	-644	-95	548
港区	-780	-552	-314	-261	-672	-64	470	101	-481	70	451
南区	-577	-227	-445	252	650	372	390	-247	-553	376	253
守山区	604	297	359	738	1,152	656	1,028	779	556	932	278
緑区	799	1,790	1,682	738	595	1,285	921	483	-125	-88	-241
名東区	-28	1,155	828	552	928	-695	-300	-725	-773	-467	-102
天白区	285	153	792	237	744	488	-99	388	-294	-170	-428

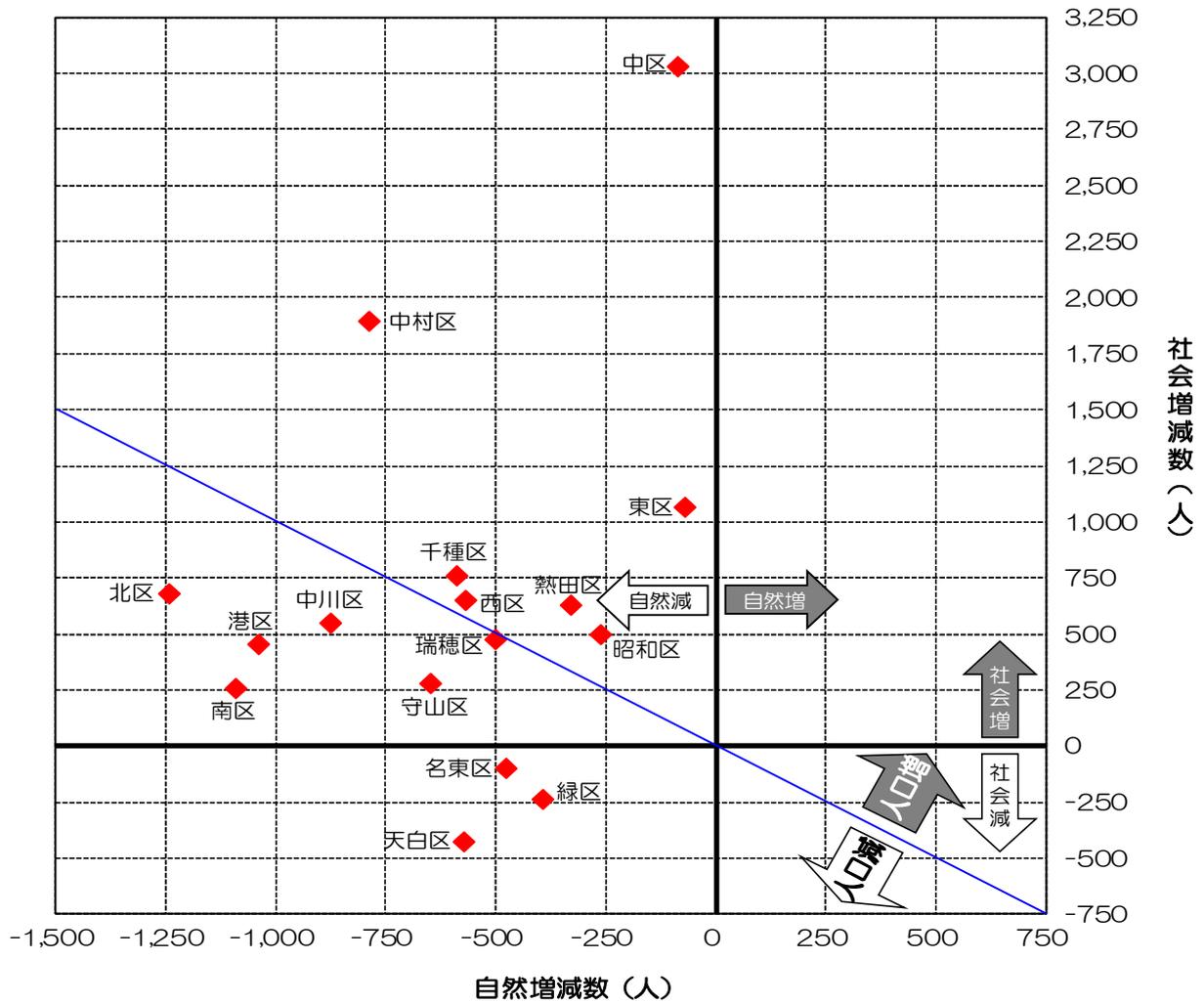
(注) 社会増減数には、市内区間移動、その他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

図 18 区別、移動地域別社会増減数（令和 4 年 10 月～令和 5 年 9 月）



(注) 総数には、その他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

参考図 区別 自然増減数及び社会増減数（令和4年10月～令和5年9月）



参考表 区別 自然増減数及び社会増減数

令和4年10月～令和5年9月

区別	出生数	死亡数	自然増減数	転入数	転出数	社会増減数	人口増減数
全市	16,615	26,144	-9,529	167,820	157,386	10,434	905
千種区	1,011	1,600	-589	14,032	13,275	757	168
東区	671	739	-68	8,784	7,720	1,064	996
北区	1,092	2,334	-1,242	10,385	9,705	680	-562
西区	1,114	1,683	-569	10,541	9,892	649	80
中村区	1,063	1,851	-788	14,366	12,474	1,892	1,104
中区	713	798	-85	16,487	13,454	3,033	2,948
昭和区	841	1,104	-263	9,329	8,834	495	232
瑞穂区	761	1,262	-501	6,726	6,250	476	-25
熱田区	416	744	-328	5,500	4,871	629	301
中川区	1,669	2,545	-876	13,727	13,179	548	-328
港区	835	1,874	-1,039	7,952	7,501	451	-588
南区	834	1,926	-1,092	9,529	9,276	253	-839
守山区	1,403	2,051	-648	8,798	8,520	278	-370
緑区	1,965	2,357	-392	11,238	11,479	-241	-633
名東区	1,103	1,578	-475	11,278	11,380	-102	-577
天白区	1,124	1,698	-574	9,148	9,576	-428	-1,002

(注) 転入数、転出数には、市内区間移動、その他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

6 年齢構成

(1) 年齢3区分別人口比率

令和5年10月1日現在の年齢3区分別人口比率を10年前（平成25年）と比較すると、年少人口（14歳以下の人口）比率は11.5%で1.3ポイント低下、生産年齢人口（15歳～64歳の人口）比率は63.1%で1.1ポイント低下したのに対し、老年人口（65歳以上の人口）比率は25.5%で2.6ポイント上昇した。

区別にみると、年少人口比率は、最も高いのは緑区の14.4%、次いで守山区の13.7%であり、最も低いのは中区の6.0%、次いで中村区の9.1%であった。10年前と比べると、東区、昭和中区の2区で上昇したが、14区で低下した。なかでも港区は2.7ポイントと最も低下した。

生産年齢人口比率は、最も高いのは中区の74.6%、次いで東区の66.5%であり、最も低いのは南区の59.5%、次いで守山区の59.9%であった。10年前と比べると、西区、中村区、中区の3区では上昇したが、他の13区で低下した。なかでも港区は3.2ポイントと最も低下した。

老年人口比率は、最も高いのは南区の30.2%、次いで港区の29.4%であり、最も低いのは中区の19.4%、次いで東区の21.9%であった。老年人口比率は、中区を除く全ての区で20%を超えており、また東区、中村区、中区を除く13区で10年前より上昇した。とりわけ、港区は5.9ポイントと大きく上昇した。

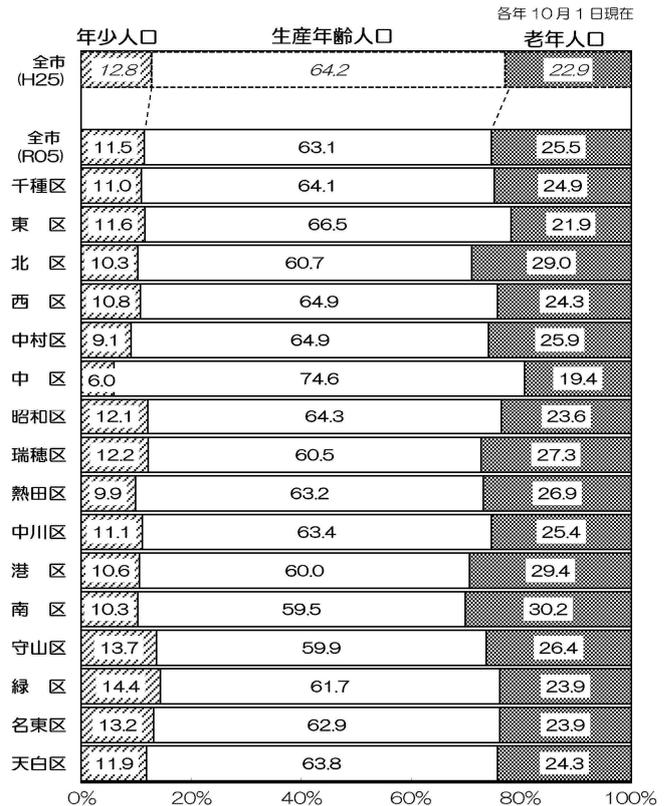
[図19、21～23]

(2) 年齢構成指数

令和5年10月1日現在の生産年齢人口に対する年少人口の比率を示す年少人口指数は18.2で、平成15年以降20付近の推移が続いていたが、近年緩やかに下降している。一方、生産年齢人口に対する老年人口の比率を示す老年人口指数は平成15年の25.4から令和3年まで上昇を続けていたが、令和4年に下降し、令和5年は前年と横ばいの40.4となった。年少人口に対する老年人口の比率を示す老年化指数は一貫して上昇しており、令和5年には222.5に達し、平成15年の127.3と比べると1.75倍近くになっている。生産年齢人口に対する被扶養人口（年少人口及び老年人口）の比率を示す従属人口指数をみると、平成15年には45.3であったが、令和5年には13.3ポイント上昇の58.6となった。

[図20]

図19 区別年齢3区分別人口比率



(注)平成25年は年齢不詳を含まない人口総数を分母とし、令和5年は国勢調査結果確定値（不詳補完値）を基礎として推計している。

図20 本市の年齢構成指数の推移

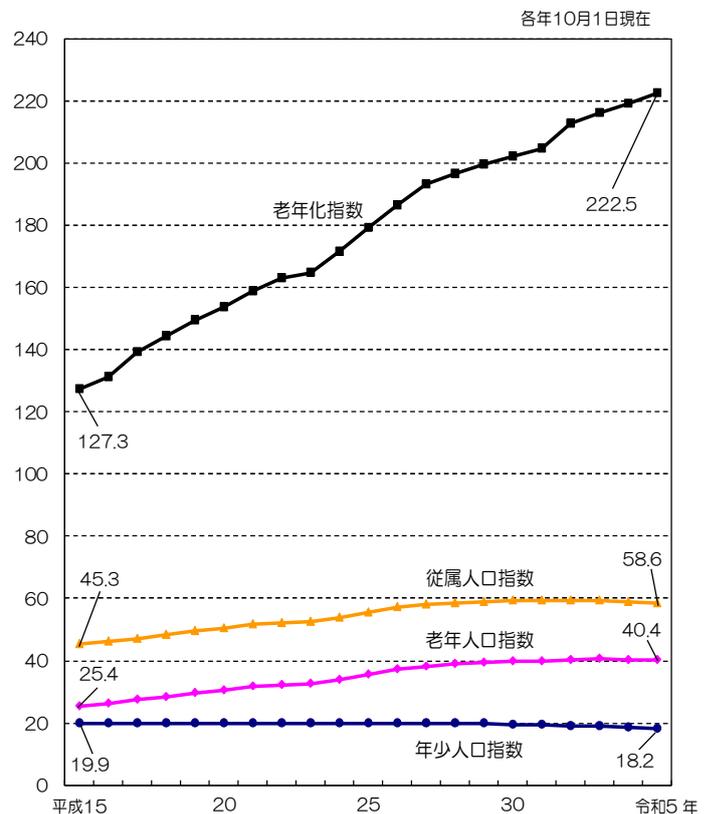
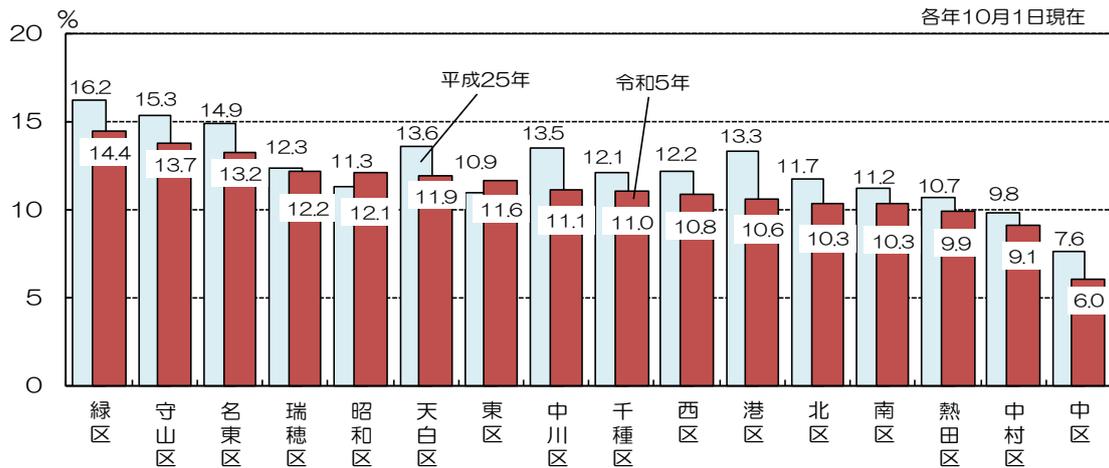
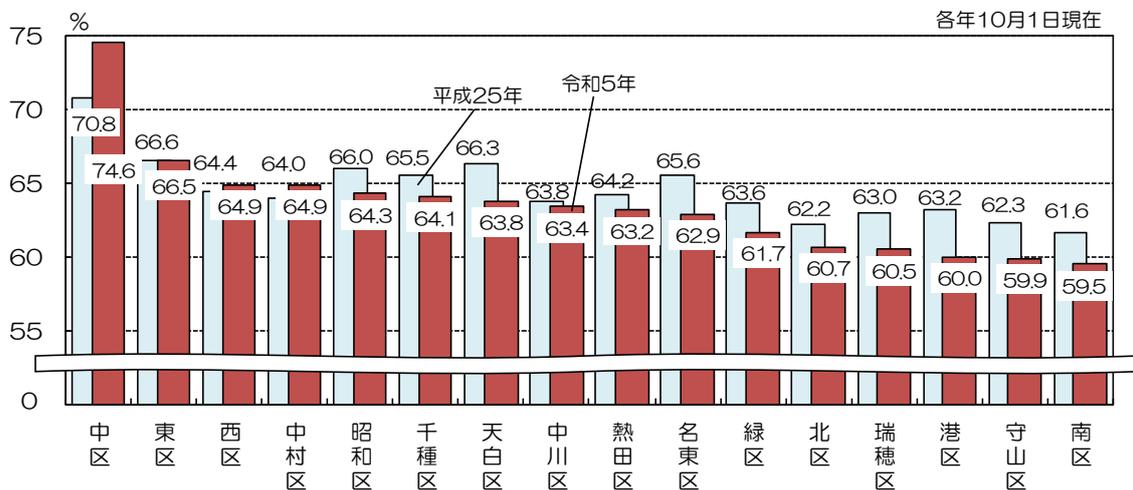


図 21 区別年少人口比率（平成 25 年、令和 5 年）、令和 5 年における上位順



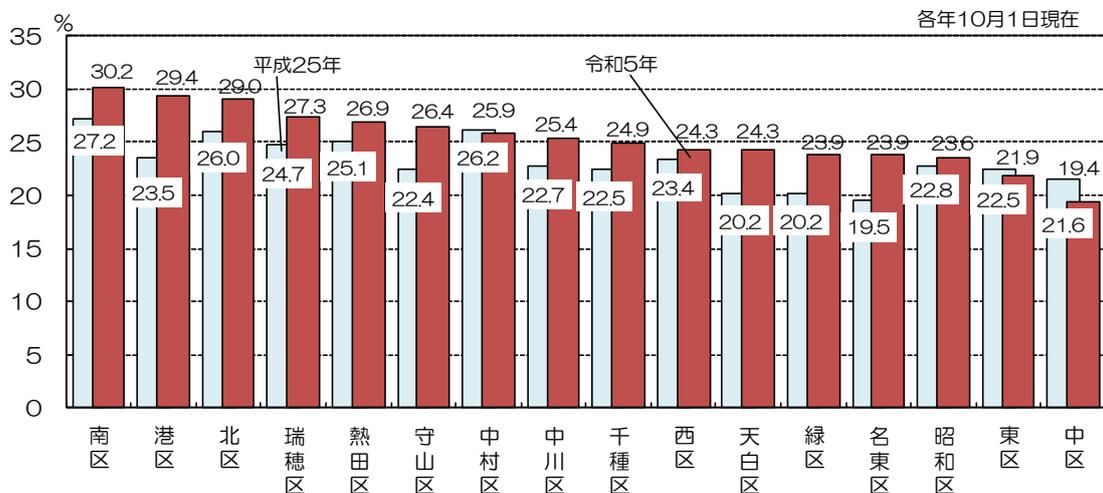
(注) 平成 25 年は年齢不詳を含まない人口総数を分母とし、令和 5 年は国勢調査結果確定値（不詳補完値）を基礎として推計している。

図 22 区別生産年齢人口比率（平成 25 年、令和 5 年）、令和 5 年における上位順



(注) 平成 25 年は年齢不詳を含まない人口総数を分母とし、令和 5 年は国勢調査結果確定値（不詳補完値）を基礎として推計している。

図 23 区別老年人口比率（平成 25 年、令和 5 年）、令和 5 年における上位順



(注) 平成 25 年は年齢不詳を含まない人口総数を分母とし、令和 5 年は国勢調査結果確定値（不詳補完値）を基礎として推計している。

(参考 1) 国籍・地域別外国人公簿人口

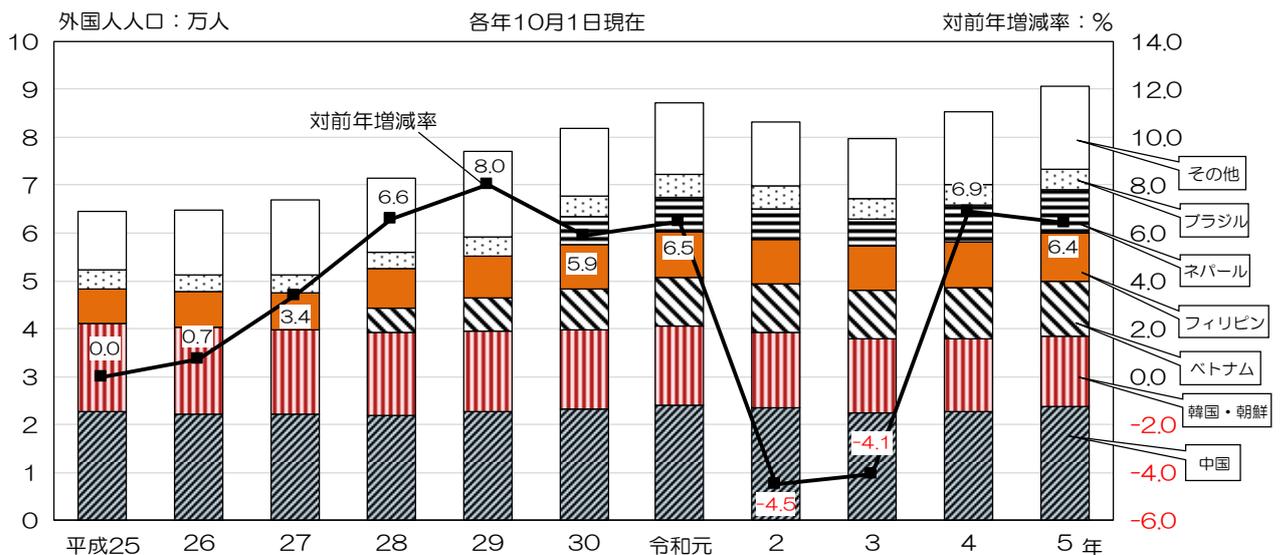
- ・令和 5 年 10 月 1 日現在の公簿上の外国人人口は 90,728 人（前年比 5,459 人増）で、2 年連続の増加。
- ・令和 5 年 10 月 1 日現在、国籍・地域別では、中国が最も多く、次いで韓国・朝鮮、ベトナム、フィリピンの順。
- ・前年からの増加数はネパールが最大。

付表 12 国籍・地域別外国人公簿人口の推移

年 別	外国人人口								各年 10 月 1 日現在	
	中国	韓国・朝鮮	ベトナム	フィリピン	ネパール	ブラジル	その他	対前年 増減数	対前年 増減率(%)	
平成 25 年	64,401	22,611	18,493	...	7,266	...	3,829	12,202	13	0.0
26 年	64,822	22,192	18,023	...	7,424	...	3,663	13,520	421	0.7
27 年	67,046	22,192	17,634	...	7,775	...	3,601	15,844	2,224	3.4
28 年	71,446	21,837	17,307	5,008	8,291	...	3,689	15,314	4,400	6.6
29 年	77,181	22,577	16,935	6,788	8,893	...	4,075	17,913	5,735	8.0
30 年	81,770	23,159	16,677	8,498	9,197	5,967	4,329	13,943	4,589	5.9
令和 元 年	87,090	24,126	16,479	10,183	9,450	7,256	4,773	14,823	5,320	6.5
2 年	83,159	23,369	15,885	9,976	9,419	6,291	4,790	13,429	-3,931	-4.5
3 年	79,758	22,454	15,422	10,153	9,391	5,439	4,255	12,644	-3,401	-4.1
4 年	85,269	22,720	15,128	10,620	9,656	7,733	4,182	15,230	5,511	6.9
5 年	90,728	23,698	14,709	11,444	10,125	9,203	4,229	17,320	5,459	6.4

(注1) ベトナムについては、平成27年以前は「その他」に含めて記載している。
 (注2) 中国については、平成27年以前は台湾を含めた数値で記載している。平成28年以降は台湾を「その他」に含めて記載している。
 (注3) ネパールについては、平成29年以前は「その他」に含めて記載している。

図 24 国籍・地域別外国人公簿人口及び対前年増減率の推移



(注 1) ベトナムについては、平成 27 年以前は「その他」に含めて記載している。
 (注 2) 中国については、平成 27 年以前は台湾を含めた数値で記載している。平成 28 年以降は台湾を「その他」に含めて記載している。
 (注 3) ネパールについては、平成 29 年以前は「その他」に含めて記載している。

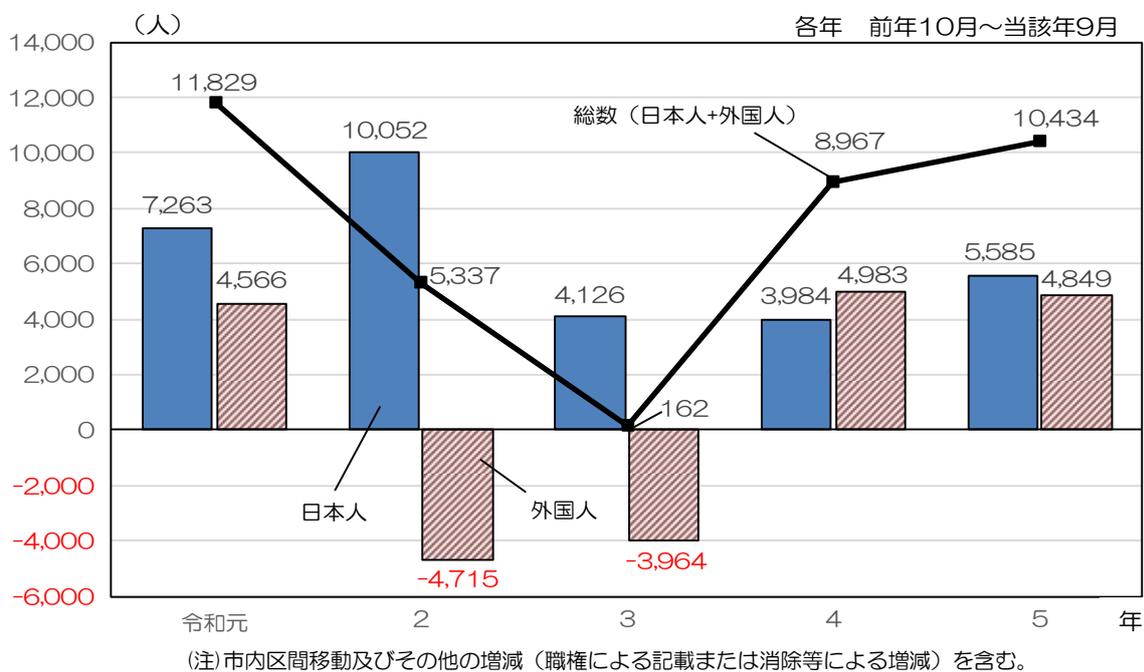
(参考 2) 社会動態の日本人・外国人別集計

令和 5 年の本市の社会動態は、前年に引き続き、総数（日本人+外国人）の社会増が拡大した。社会増のうち日本人の社会増が約半数であり、外国人の社会増をやや上回った。

1 年次推移

- ・令和 5 年の社会増減数は、日本人が 5,585 人の社会増、外国人が 4,849 人の社会増。
- ・前年に比べ、外国人の社会増は縮小したが、日本人の社会増は拡大し、総数（日本人+外国人）の社会増は拡大した。

図 25 社会増減数の推移（令和元年～令和 5 年）



付表 13 社会増減数の推移（令和元年～令和 5 年）

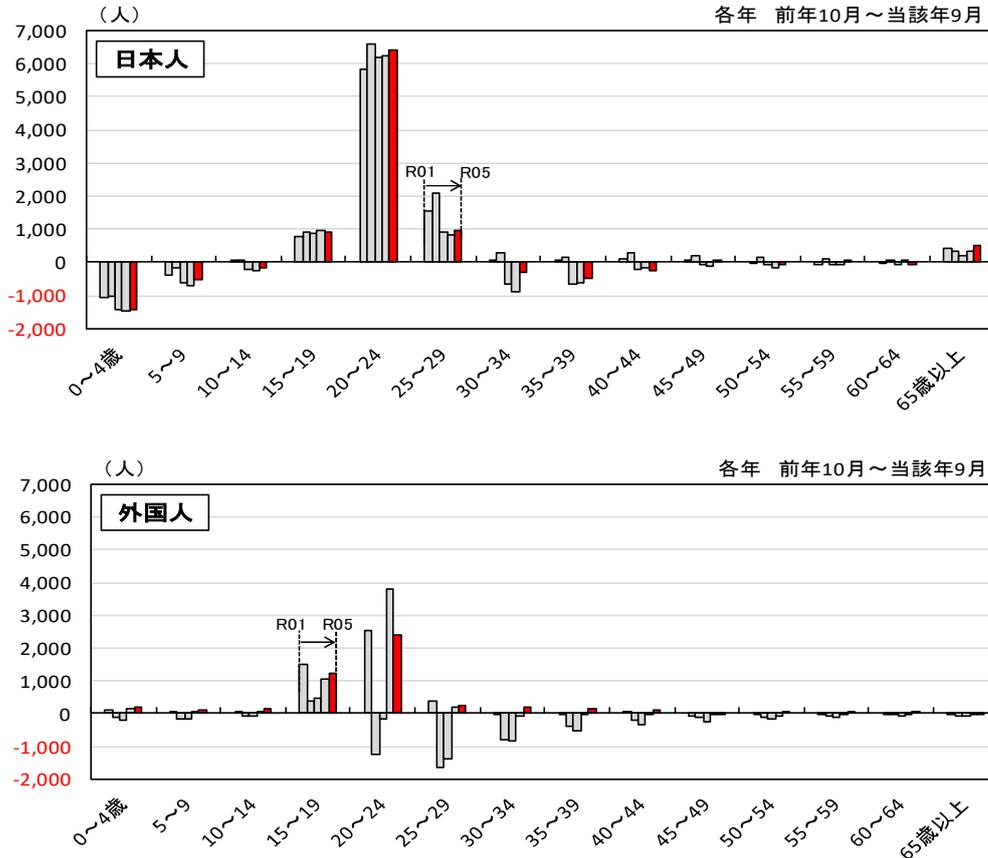
	令和元年	2年	3年	4年	5年
総数	11,829	5,337	162	8,967	10,434
日本人	7,263	10,052	4,126	3,984	5,585
外国人	4,566	-4,715	-3,964	4,983	4,849

(注)市市区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

2 年齢階級別

- ・日本人は「20～24歳」で最も社会増が大きく、「0～4歳」で最も社会減が大きい。
- ・外国人は令和4年、「15～19歳」の社会増が大きく拡大し、「20～24歳」は大きな社会増に転じていた。令和5年は「15～19歳」で引き続き社会増が拡大し、「20～24歳」では社会増が縮小した。

図26 年齢5歳階級別社会増減数の推移（令和元年～令和5年）



（注）市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

付表14 年齢5歳階級別社会増減数の推移（令和元年～令和5年）

年齢階級	日本人					外国人				
	令和元年	2年	3年	4年	5年	令和元年	2年	3年	4年	5年
総数	7,263	10,052	4,126	3,984	5,585	4,566	-4,715	-3,964	4,983	4,849
0～4歳	-1,079	-1,015	-1,439	-1,467	-1,418	97	-139	-209	143	183
5～9	-381	-142	-624	-677	-516	78	-148	-161	74	96
10～14	2	57	-209	-256	-141	75	-71	-92	67	154
15～19	787	929	863	947	909	1,521	384	464	1,037	1,253
20～24	5,818	6,573	6,168	6,227	6,391	2,549	-1,248	-187	3,805	2,395
25～29	1,556	2,092	904	846	967	356	-1,654	-1,372	182	242
30～34	11	309	-666	-870	-275	-16	-777	-851	-91	190
35～39	31	135	-633	-601	-465	-16	-399	-528	-20	167
40～44	121	302	-211	-178	-259	54	-222	-324	-16	124
45～49	81	205	-54	-95	4	-53	-125	-260	-47	-6
50～54	-30	140	-57	-148	-80	-17	-127	-159	-86	33
55～59	-46	128	-71	-73	27	-27	-89	-114	-33	21
60～64	-33	14	-56	5	-87	-22	-40	-93	-28	20
65歳以上	425	325	211	324	528	-13	-60	-79	-4	-23

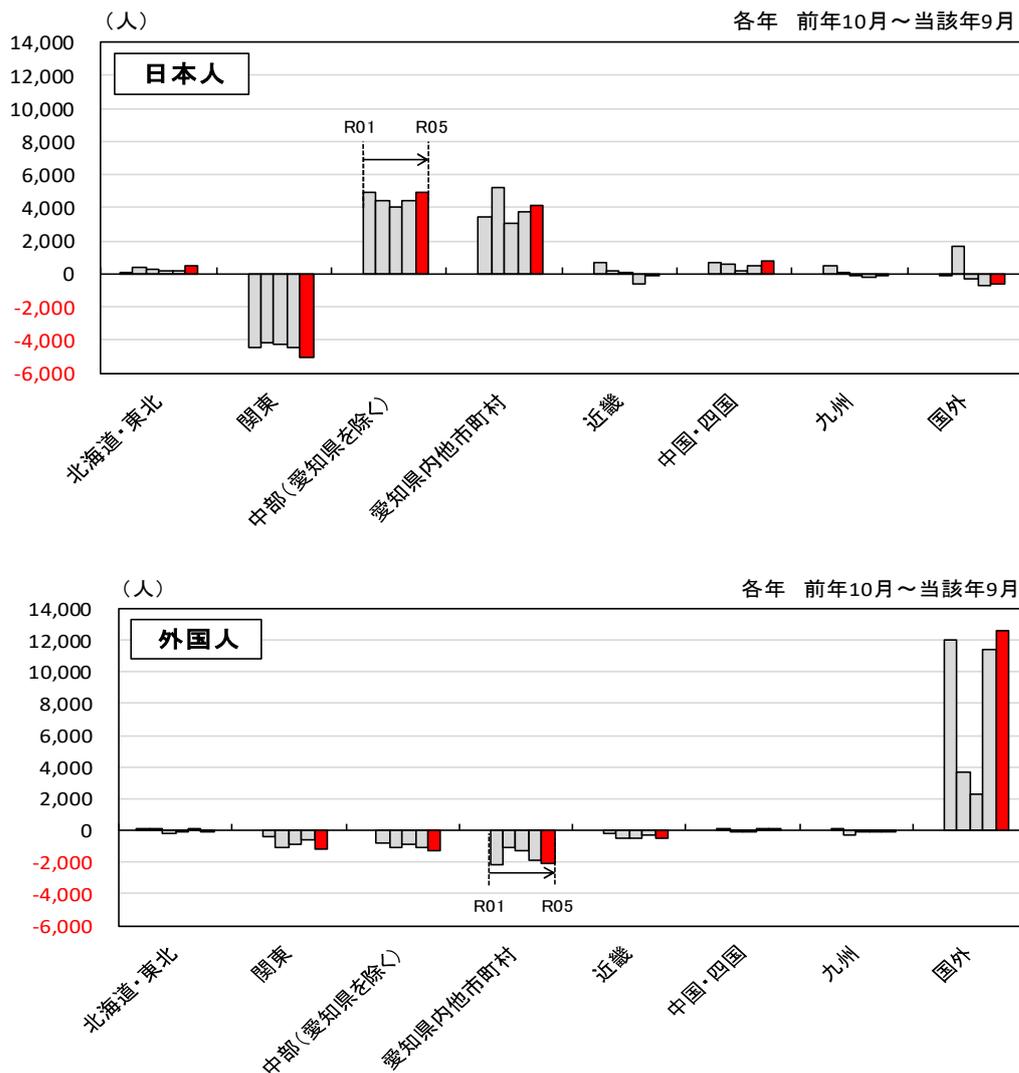
（注1）市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

（注2）総数には年齢不詳を含む。

3 地域別

- ・日本人は、中部（愛知県を除く）と愛知県内各市町村に対して大きな社会増、関東に対して大きな社会減。令和5年は中部（愛知県を除く）、愛知県内各市町村ともに社会増が拡大した。
- ・外国人は、国外に対する社会増が令和2～3年に大幅に縮小したが、令和4年に大幅に拡大しており、令和5年は前年に引き続き拡大した。

図27 地域別社会増減数の推移（令和元年～令和5年）



付表15 地域別社会増減数の推移（令和元年～令和5年）

各年 前年10月～当該年9月

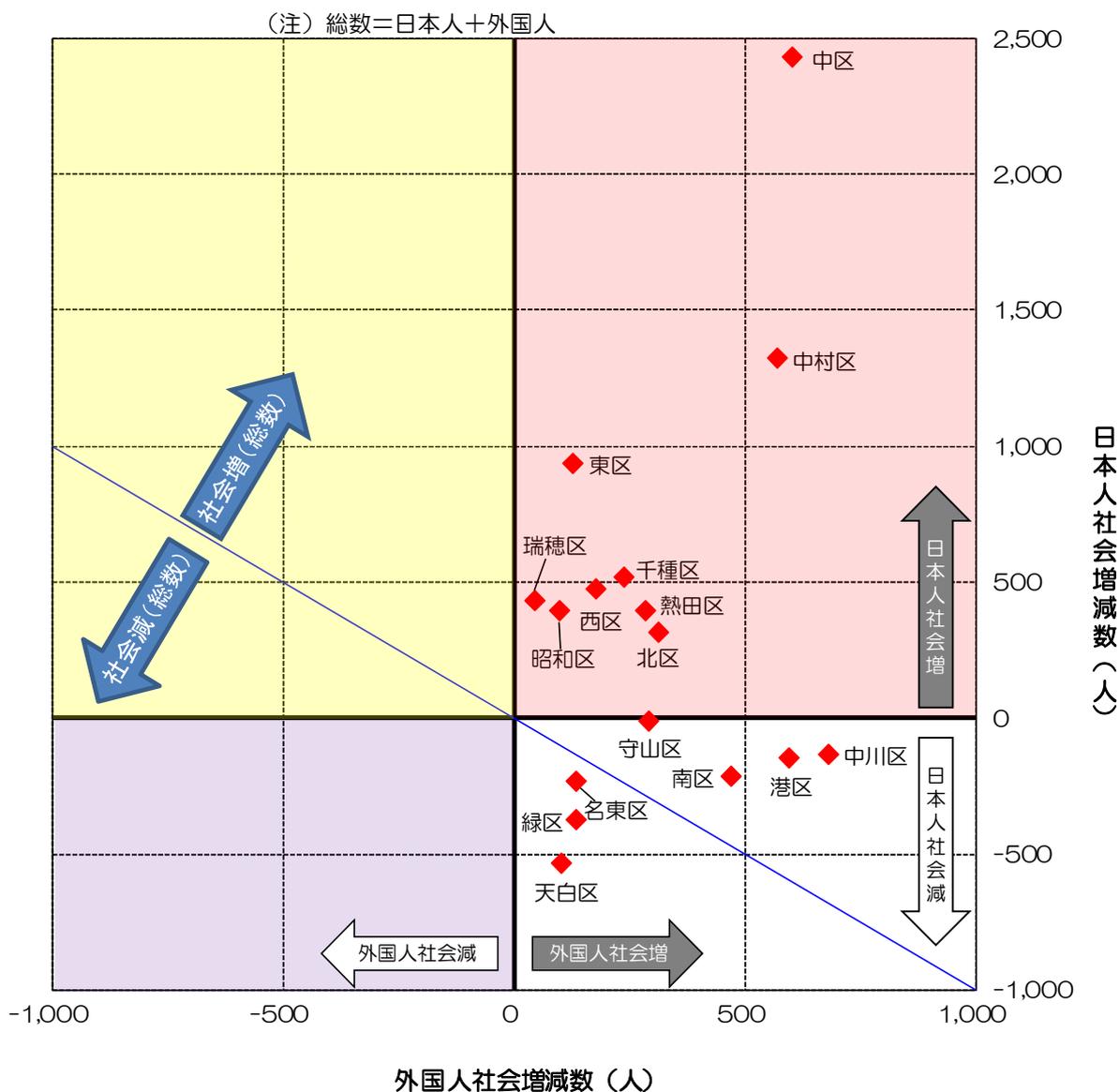
地域別	日本人					外国人				
	令和元年	2年	3年	4年	5年	令和元年	2年	3年	4年	5年
北海道・東北	425	302	206	185	474	9	-144	-57	44	-57
関東	-4,452	-4,160	-4,251	-4,495	-5,041	-408	-1,033	-852	-611	-1,191
中部（愛知県を除く）	4,888	4,408	4,082	4,434	4,935	-798	-1,103	-836	-1,129	-1,304
愛知県内各市町村	3,488	5,247	3,008	3,765	4,106	-2,127	-1,118	-1,288	-1,911	-2,034
近畿	642	187	32	-563	-138	-169	-495	-528	-295	-474
中国・四国	667	611	197	524	746	7	-115	-53	21	1
九州	513	125	-158	-222	-133	85	-326	-46	-63	-59
国外	-113	1,674	-306	-738	-599	12,043	3,662	2,289	11,430	12,550

4 区別

(1) 日本人外国人別社会増減数

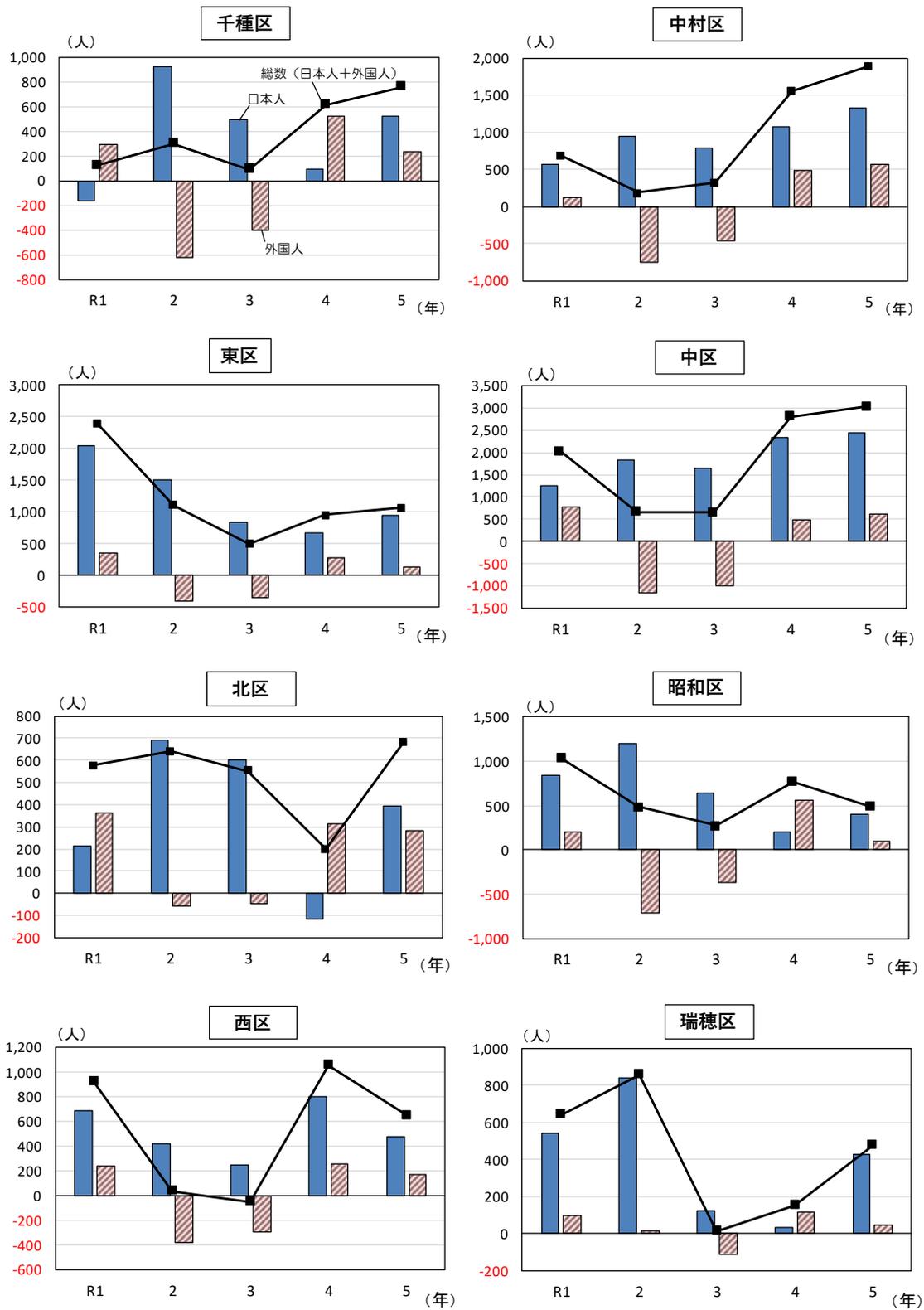
- ・令和5年、外国人はすべての区で社会増。
- ・令和5年、日本人が社会増となった区は9区。
(千種、東、北、西、中村、中、昭和、瑞穂、熱田)
- ・令和5年、日本人が社会減となった区は7区。
(中川、港、南、守山、緑、名東、天白)

図28 区別日本人社会増減数及び外国人社会増減数（令和4年10月～令和5年9月）



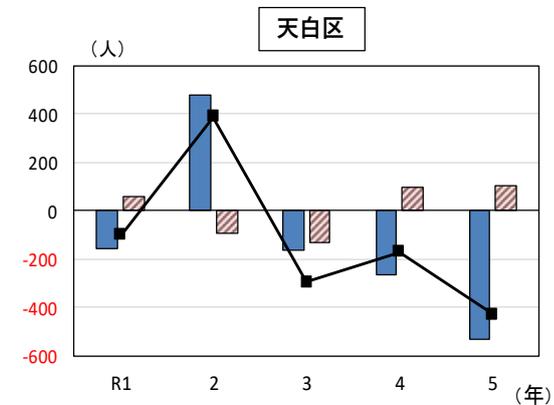
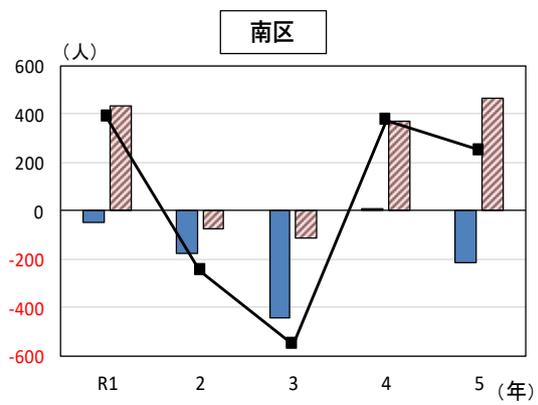
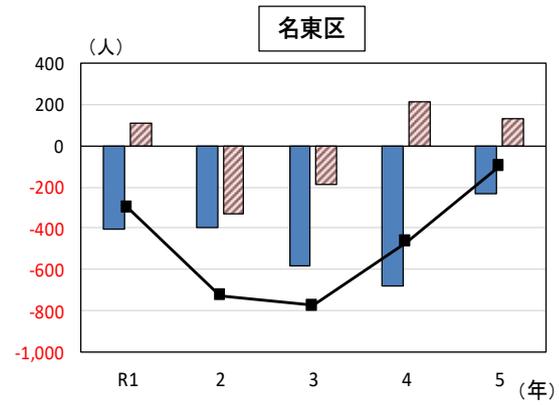
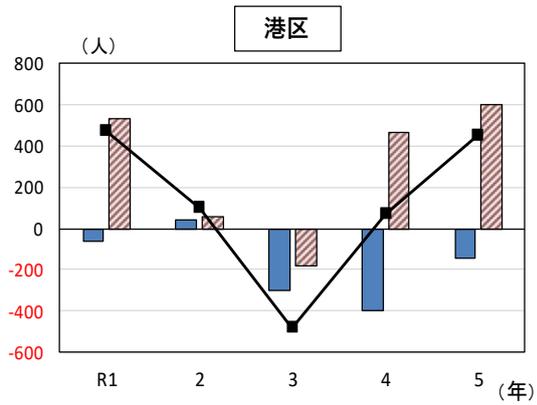
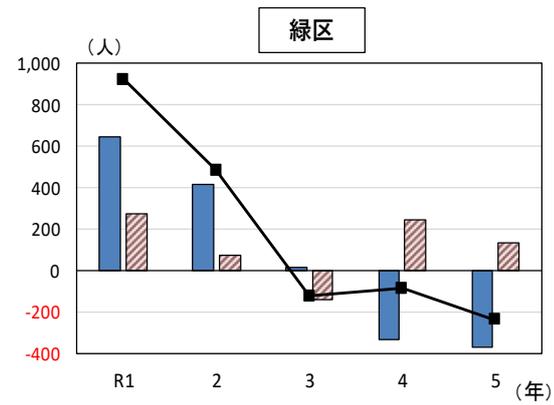
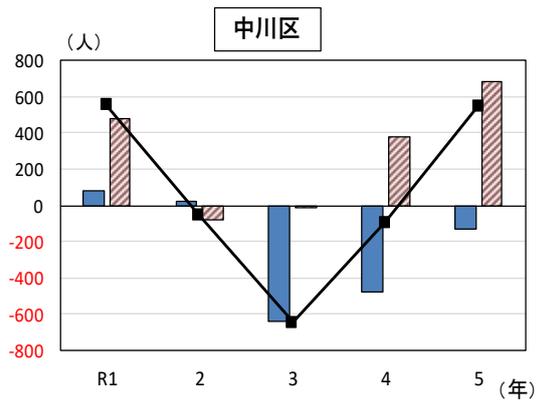
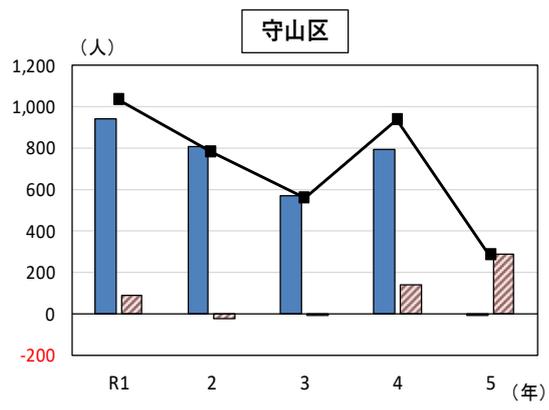
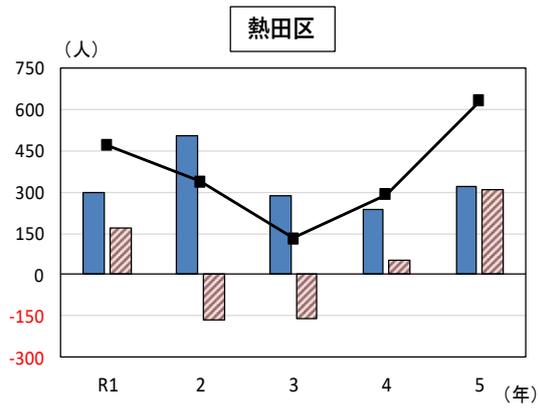
(注)市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

図 29 区別社会増減数の推移（令和元年～令和 5 年）



(注 1) 各年前年 10 月～当該年 9 月。

(注 2) 市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。



(注1) 各年前年10月～当該年9月。

(注2) 市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

付表 16 区別社会増減数の推移（令和元年～令和 5 年）

各年 前年10月～当該年9月

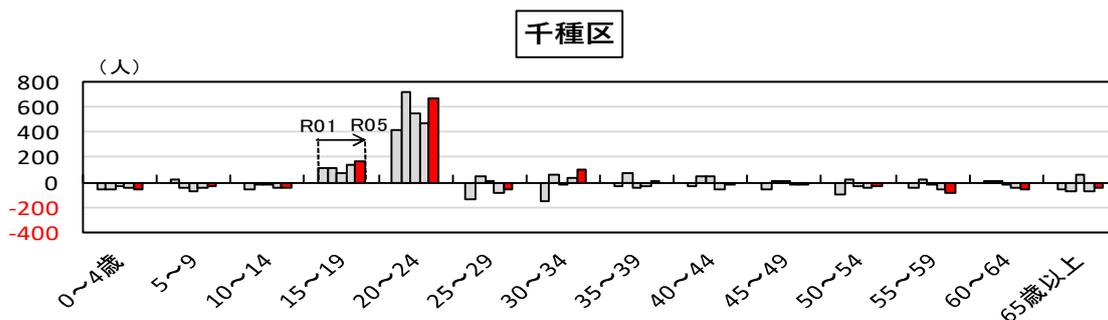
区別	日本人					外国人				
	令和元年	2年	3年	4年	5年	令和元年	2年	3年	4年	5年
全市	7,263	10,052	4,126	3,984	5,585	4,566	-4,715	-3,964	4,983	4,849
千種区	-166	922	491	93	520	288	-622	-402	522	237
東区	2,035	1,509	843	675	939	352	-403	-346	279	125
北区	212	694	599	-114	396	363	-55	-47	312	284
西区	684	416	249	797	474	237	-379	-300	259	175
中村区	569	946	793	1,068	1,324	117	-758	-473	493	568
中区	1,256	1,828	1,638	2,328	2,430	770	-1,167	-990	479	603
昭和区	838	1,201	641	210	398	201	-714	-366	565	97
瑞穂区	545	844	125	37	431	96	15	-110	116	45
熱田区	297	503	289	237	318	170	-165	-158	53	311
中川区	79	20	-636	-474	-133	476	-77	-8	379	681
港区	-62	44	-299	-395	-145	532	57	-182	465	596
南区	-45	-175	-441	3	-215	435	-72	-112	373	468
守山区	940	802	565	792	-11	88	-23	-9	140	289
緑区	644	411	14	-331	-375	277	72	-139	243	134
名東区	-406	-394	-584	-677	-235	106	-331	-189	210	133
天白区	-157	481	-161	-265	-531	58	-93	-133	95	103

(注)市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

(2) 日本人年齢階級別社会増減数

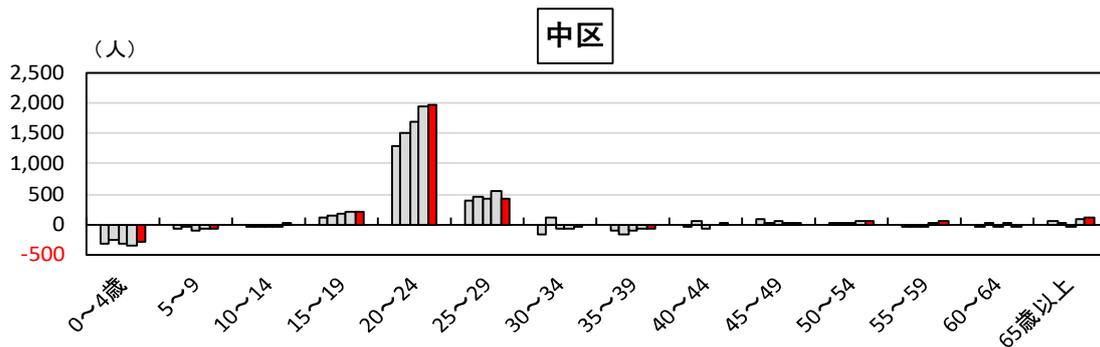
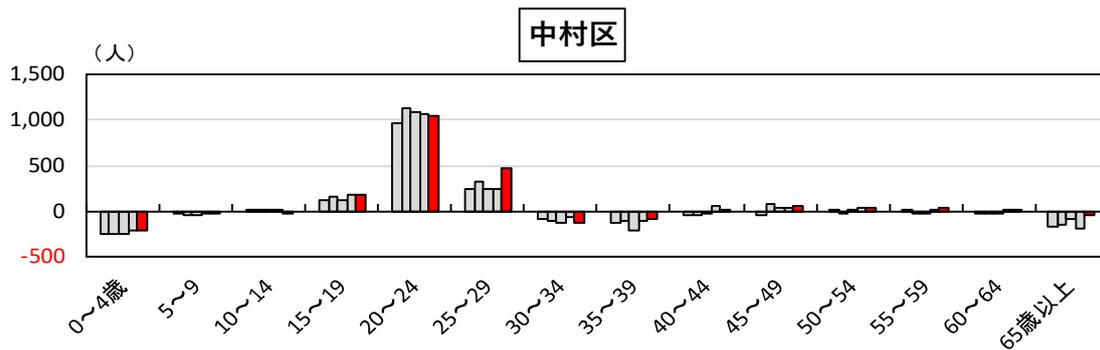
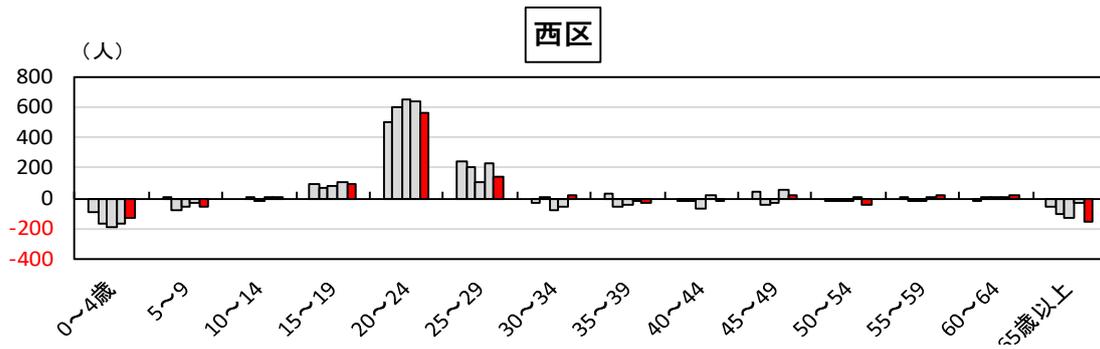
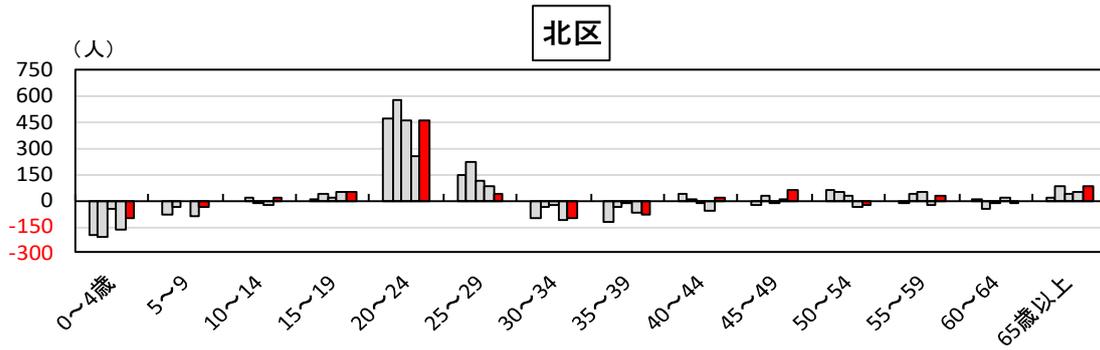
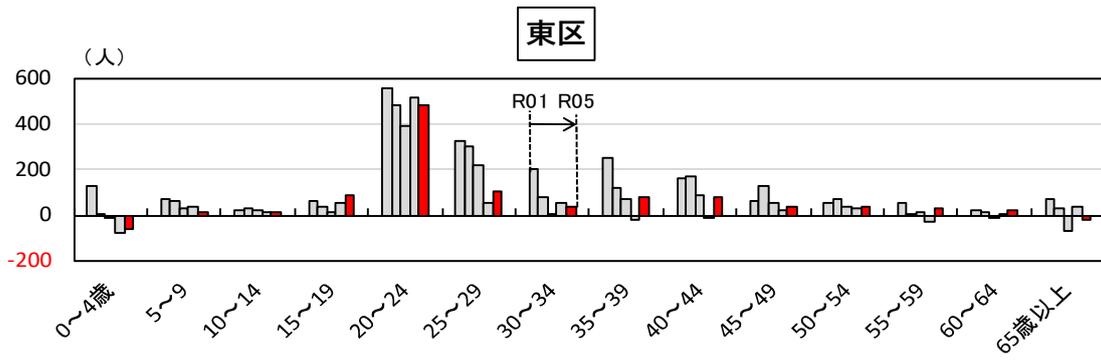
- ・ 令和 5 年、「20～24 歳」が最大の社会増となった区は 11 区。
（千種、東、北、西、中村、中、昭和、瑞穂、熱田、中川、南）
- ・ 令和 5 年、「20～24 歳」が社会減となった区は 5 区。
（港、守山、緑、名東、天白）
- ・ 令和 5 年、「65 歳以上」が社会増となった区は 8 区。
（北、中、中川、港、守山、緑、名東、天白）
- ・ 令和 5 年、14 歳以下（「0～4 歳」から「10～14 歳」の合計）が社会増となった区は 1 区。
（昭和）

図 30 日本人年齢階級別社会増減数の推移（令和元年～令和 5 年）



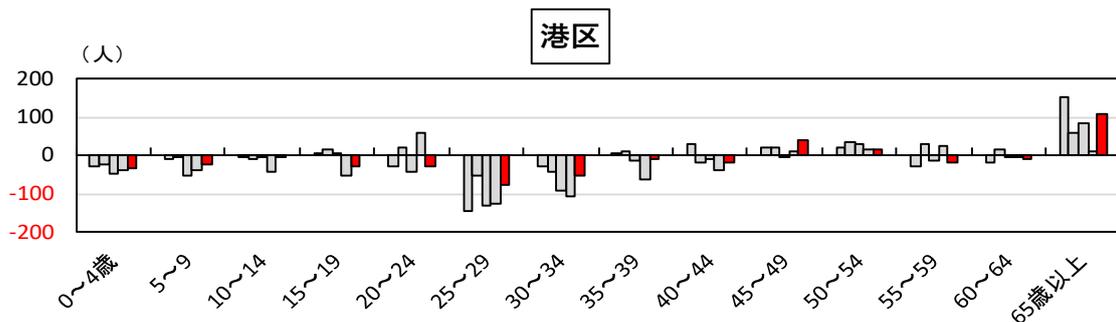
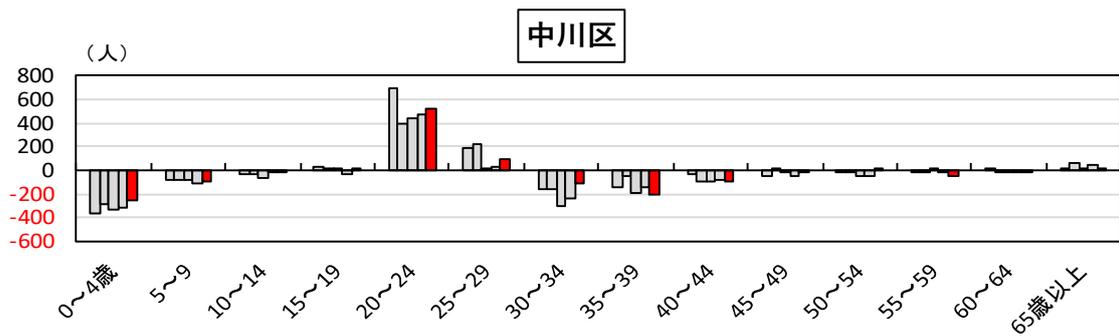
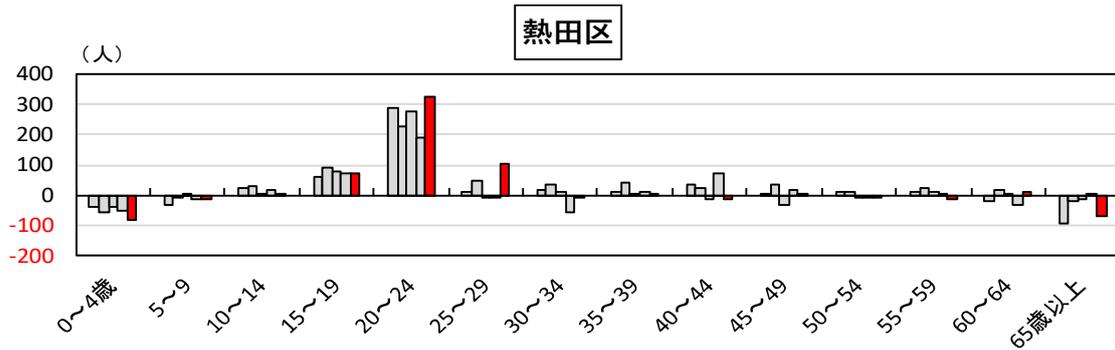
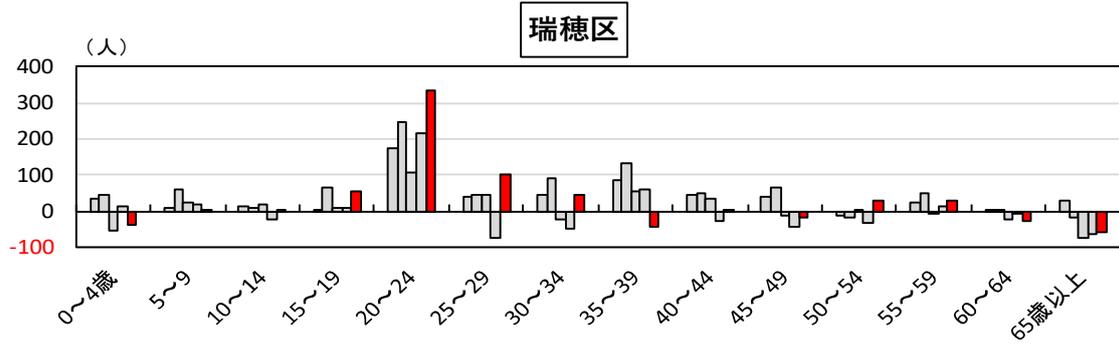
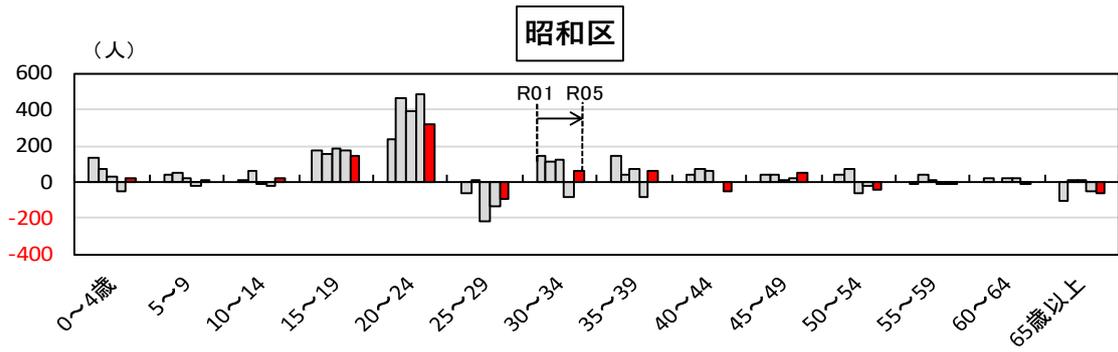
(注 1) 各年前年 10 月～当該年 9 月。

(注 2) 市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。



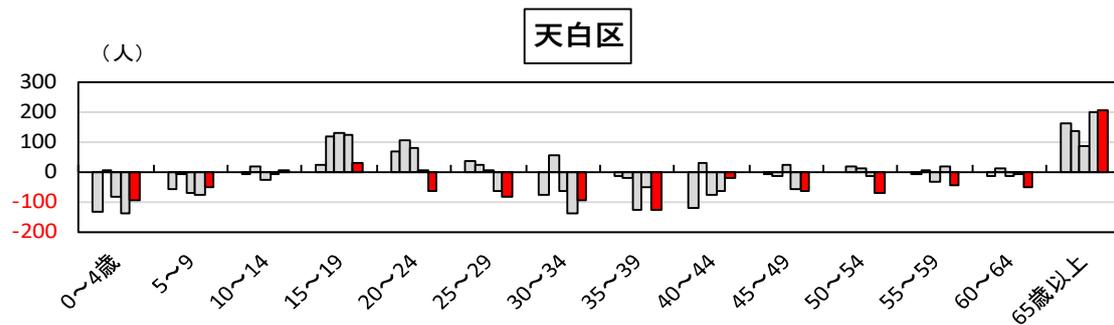
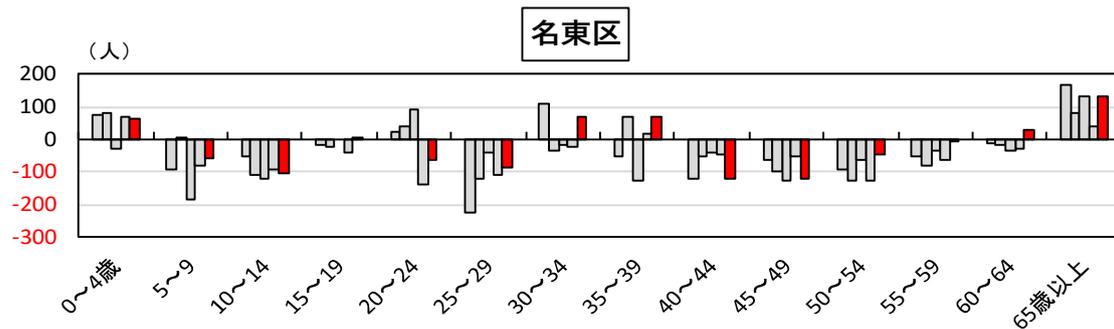
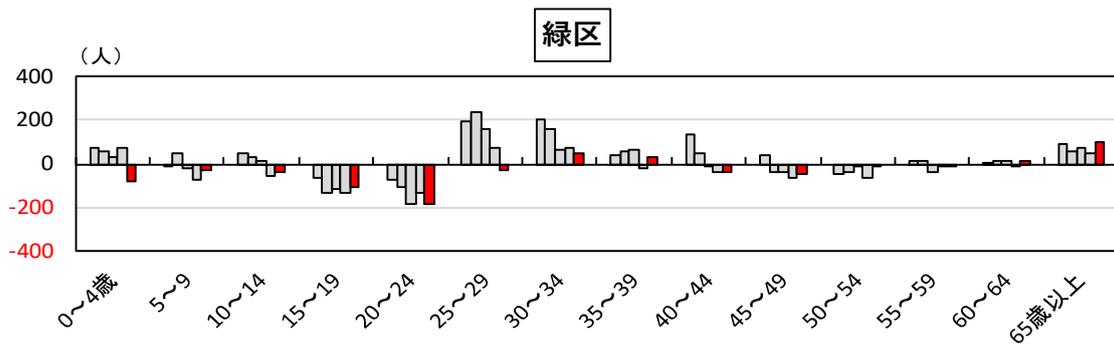
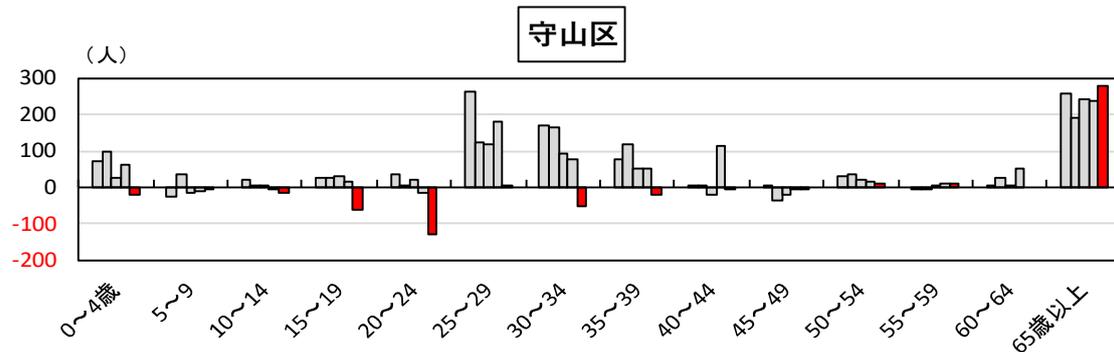
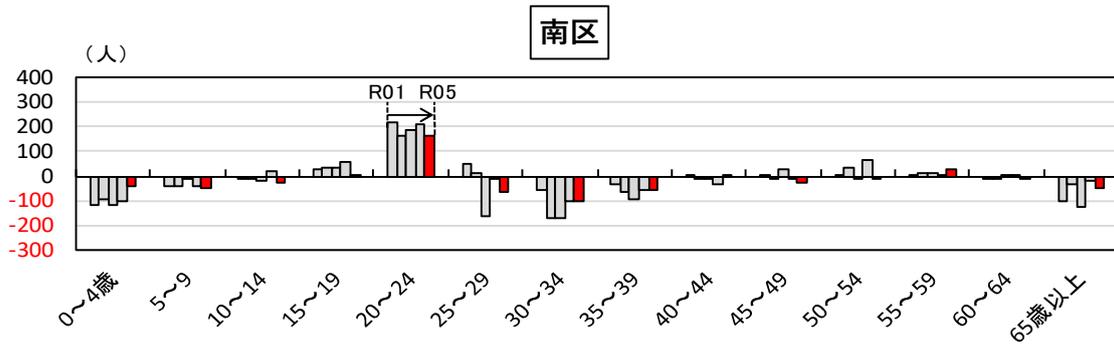
(注1) 各年前年10月～当該年9月。

(注2) 市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。



(注1) 各年前年10月～当該年9月。

(注2) 市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。



(注1) 各年前年10月～当該年9月。

(注2) 市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

付表 17 区別日本人年齢階級別社会増減数の推移（令和元年～令和5年）

区名	総数	各年 前年10月から当該年9月													
		0～4歳	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65歳以上
令和元年															
全市	7,263	-1,079	-381	2	787	5,818	1,556	11	31	121	81	-30	-46	-33	425
千種区	-166	-58	22	-52	112	414	-142	-153	-36	-31	-57	-96	-39	11	-61
東区	2,035	131	67	21	60	560	328	202	252	158	65	52	51	18	70
北区	212	-203	-77	0	11	474	144	-105	-119	44	-25	59	-15	8	16
西区	684	-90	6	0	95	503	243	-34	27	-20	47	-18	9	-23	-61
中村区	569	-257	-31	6	113	961	239	-90	-135	-47	-56	16	18	-6	-162
中区	1,256	-304	-69	-3	123	1,276	394	-177	-87	-2	71	19	-14	-19	48
昭和区	838	134	43	11	171	231	-67	143	147	42	40	36	-8	20	-105
瑞穂区	545	35	12	17	6	172	39	48	85	45	43	-10	24	1	28
熱田区	297	-38	-34	22	62	287	14	19	11	34	5	12	12	-17	-92
中川区	79	-367	-83	-23	29	692	194	-163	-133	-30	-47	-11	-10	11	20
港区	-62	-28	-11	-3	4	-28	-147	-27	4	31	18	19	-29	-17	152
南区	-45	-119	-41	-3	29	219	50	-57	-34	2	7	2	5	-5	-100
守山区	940	73	-25	23	24	36	262	169	78	3	3	32	-1	6	257
緑区	644	74	-8	44	-61	-73	196	202	38	135	38	-50	11	7	91
名東区	-406	73	-93	-50	-17	24	-225	111	-53	-122	-64	-92	-52	-11	165
天白区	-157	-135	-59	-8	26	70	34	-77	-14	-121	-7	0	-8	-17	159
令和2年															
全市	10,052	-1,015	-142	57	929	6,573	2,092	309	135	302	205	140	128	14	325
千種区	922	-53	-51	-13	117	719	42	56	67	53	9	23	23	5	-75
東区	1,509	4	60	29	35	482	297	80	119	165	129	72	2	9	26
北区	694	-209	-38	18	43	576	220	-40	-37	8	32	45	42	-44	78
西区	416	-162	-82	6	65	595	204	11	-61	-1	-37	-22	-1	7	-106
中村区	946	-252	-51	22	162	1,120	321	-109	-116	-37	75	-4	-30	-10	-145
中区	1,828	-256	-46	-6	148	1,514	459	101	-174	50	3	17	-3	1	20
昭和区	1,201	76	46	59	153	468	7	109	43	75	42	74	45	0	4
瑞穂区	844	45	63	11	64	249	47	92	135	51	67	-17	50	5	-18
熱田区	503	-57	-4	30	90	229	45	35	41	22	38	11	23	19	-19
中川区	20	-278	-80	-23	15	400	224	-154	-53	-88	18	-12	-1	-16	68
港区	44	-24	-4	-10	13	18	-53	-43	11	-18	20	32	28	13	61
南区	-175	-92	-41	-4	32	163	9	-173	-62	-13	-2	32	15	-5	-34
守山区	802	99	37	3	26	1	125	166	121	5	-35	37	-1	26	192
緑区	411	58	49	31	-130	-104	240	157	55	52	-41	-40	15	13	56
名東区	-394	80	1	-111	-23	38	-121	-33	68	-51	-97	-128	-81	-19	83
天白区	481	6	-1	15	119	105	26	54	-22	29	-16	20	2	10	134
令和3年															
全市	4,126	-1,439	-624	-209	863	6,168	904	-666	-633	-211	-54	-57	-71	-56	211
千種区	491	-35	-78	-17	77	553	9	-6	-50	41	1	-33	-17	-10	56
東区	843	-13	30	22	12	390	218	1	71	85	56	35	13	-4	-73
北区	599	-46	0	-2	17	457	114	-21	-15	-9	-2	31	47	-10	38
西区	249	-185	-51	-7	84	645	108	-74	-37	-64	-27	-15	-5	11	-134
中村区	793	-250	-44	18	113	1,077	245	-129	-208	-2	45	16	-8	-3	-77
中区	1,638	-313	-96	-36	192	1,677	425	-83	-100	-69	55	35	-20	-10	-19
昭和区	641	31	22	-2	186	387	-219	126	76	57	8	-59	4	15	9
瑞穂区	125	-52	23	22	9	107	48	-21	57	35	-12	6	-6	-20	-71
熱田区	289	-37	6	3	80	277	-8	13	1	-16	-29	-5	12	3	-11
中川区	-636	-326	-83	-55	15	441	7	-292	-186	-95	-17	-51	8	-4	2
港区	-299	-47	-55	-5	2	-42	-129	-91	-16	-10	-1	30	-13	-4	82
南区	-441	-115	-8	-18	32	185	-160	-172	-93	-12	29	-8	15	7	-123
守山区	565	26	-15	2	29	20	118	94	53	-20	-21	23	8	7	241
緑区	14	32	-24	13	-113	-182	161	69	68	-16	-35	-8	-41	17	73
名東区	-584	-27	-182	-119	0	94	-39	-15	-126	-40	-129	-65	-32	-37	133
天白区	-161	-82	-69	-28	128	82	6	-65	-128	-76	25	11	-36	-14	85
令和4年															
全市	3,984	-1,467	-677	-256	947	6,227	846	-870	-601	-178	-95	-148	-73	5	324
千種区	93	-39	-44	-42	136	466	-82	32	-34	-57	-19	-45	-58	-51	-70
東区	675	-81	38	16	50	517	53	51	-24	-3	21	26	-30	7	34
北区	-114	-163	-89	-26	46	257	81	-113	-73	-54	11	-33	-23	20	45
西区	797	-164	-36	5	108	639	231	-50	-15	21	61	8	13	6	-30
中村区	1,068	-206	-32	16	185	1,058	238	-72	-102	52	43	36	23	21	-192
中区	2,328	-340	-74	-12	223	1,948	544	-82	-83	0	21	63	29	12	79
昭和区	210	-49	-19	-24	173	479	-137	-86	-86	0	19	-21	-9	22	-52
瑞穂区	37	17	19	-23	12	217	-73	-45	62	-27	-42	-31	17	-2	-64
熱田区	237	-49	-13	15	74	190	-2	-58	12	70	19	-5	6	-29	7
中川区	-474	-311	-109	-14	-30	471	39	-229	-136	-74	-53	-42	-21	-9	44
港区	-395	-41	-39	-43	-55	59	-125	-105	-63	-38	9	15	23	-2	10
南区	3	-99	-44	23	60	210	-2	-105	-58	-32	-10	67	5	4	-16
守山区	792	61	-8	-3	16	-14	180	79	50	114	-3	18	9	54	239
緑区	-331	71	-72	-51	-134	-134	74	72	-20	-37	-63	-63	-10	-15	51
名東区	-677	68	-81	-92	-43	-137	-108	-20	20	-48	-54	-128	-64	-29	39
天白区	-265	-142	-74	-1	126	1	-65	-139	-51	-65	-55	-13	17	-4	200

(注)市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。

各年 前年10月から当該年9月

区名	総数	0～4歳	5～9	10～14	15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65歳以上
令和5年															
全市	5,585	-1,418	-516	-141	909	6,391	967	-275	-465	-259	4	-80	27	-87	528
千種区	520	-55	-29	-40	165	666	-64	94	9	-4	-2	-33	-79	-62	-46
東区	939	-64	14	15	85	485	100	40	81	80	35	40	30	17	-19
北区	396	-106	-40	18	47	463	38	-105	-77	20	59	-31	27	-1	84
西区	474	-132	-50	12	97	565	141	21	-31	-8	15	-43	22	16	-151
中村区	1,324	-207	-27	-4	173	1,053	462	-125	-85	1	62	31	40	6	-56
中区	2,430	-293	-69	2	211	1,980	434	-16	-77	9	33	62	46	-9	117
昭和区	398	18	1	24	140	317	-99	61	60	-50	52	-44	-7	-9	-66
瑞穂区	431	-39	1	7	57	333	100	45	-41	4	-16	29	32	-26	-55
熱田区	318	-81	-13	4	70	324	102	-5	1	-15	2	-1	-12	11	-69
中川区	-133	-247	-86	-6	24	518	93	-107	-197	-98	-9	11	-38	-7	16
港区	-145	-32	-24	-6	-29	-30	-78	-51	-8	-18	37	16	-17	-10	105
南区	-215	-41	-52	-23	2	164	-66	-101	-56	7	-26	-3	30	-2	-48
守山区	-11	-21	-5	-15	-59	-129	8	-52	-22	-7	-6	9	12	0	276
緑区	-375	-81	-26	-34	-106	-188	-33	49	32	-40	-46	-6	-9	11	102
名東区	-235	61	-57	-101	5	-65	-87	70	71	-120	-123	-45	-4	27	133
天白区	-531	-98	-54	6	27	-65	-84	-93	-125	-20	-63	-72	-46	-49	205

(注)市内区間移動及びその他の増減（職権による記載または消除等による増減）を含む。